

(様式第10)

久大病(管)第31号
令和2年10月2日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人久留米大学
理事長 永田 見生

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地
氏 名	学校法人久留米大学 理事長 永田 見生

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

久留米大学病院

3 所在の場所

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67番地	電話 (0942)31-7602
----------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	4腎臓内科
		8代謝内科
		11リウマチ科
診療実績		
循環器内科は心臓・血管内科、神経内科は脳神経内科、血液内科は血液・腫瘍内科、内分泌内科及び代謝内科は内分泌・代謝・糖尿病内科、感染症内科は呼吸器内科及び感染制御科(院内診療科)、アレルギー疾患内科は呼吸器内科、小児科、耳鼻いんこう科、皮膚科等、リウマチ科は膠原病内科(院内診療科)、整形外科で診療を行っている。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有・無
外科と組み合わせた診療科名	
1呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 8小児外科	
診療実績	
乳腺外科及び内分泌外科は乳腺・内分泌外科（院内診療科）で診療を行っている。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有・無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科 2リハビリテーション科 3病理診断科 4美容外科

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
53 床	床	床	床	965 床	1,018 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	521 人	5 人	521.8 人	看護補助者	156 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	12 人	0 人	12 人	理学療法士	26 人	臨床検査技師	81 人
薬剤師	65 人	0 人	65 人	作業療法士	11 人	衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	9 人	その他	0 人
助産師	51 人	0 人	51 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	1,018 人	35 人	1,043.7 人	臨床工学士	27 人	医療社会事業従事者	22 人
准看護師	1 人	0 人	1 人	栄養士	4 人	その他の技術員	43 人
歯科衛生士	4 人	1 人	4.5 人	歯科技工士	1 人	事務職員	175 人
管理栄養士	13 人	0 人	13 人	診療放射線技師	58 人	その他の職員	43 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	60 人	眼科専門医	14 人
外科専門医	62 人	耳鼻咽喉科専門医	10 人
精神科専門医	19 人	放射線科専門医	0 人
小児科専門医	41 人	脳神経外科専門医	15 人
皮膚科専門医	7 人	整形外科専門医	21 人
泌尿器科専門医	13 人	麻酔科専門医	11 人
産婦人科専門医	21 人	救急科専門医	13 人
		合 計	307 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (志波 直人) 任命年月日 令和2年4月1日

平成19年4月～	医療安全管理対策委員会委員
平成25年4月～平成28年3月	医療安全管理部部長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	826.5 人	17.2 人	843.7 人
1日当たり平均外来患者数	1,793.4 人	87.8 人	1,881.2 人
1日当たり平均調剤数			1,758.1 剤
必要医師数			193.0 人
必要歯科医師数			7 人
必要薬剤師数			29 人
必要(准)看護師数			488 人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	人工呼吸装置	心細動除去装置
集中治療室	1,546.99 m ²	鉄筋コンクリート	61 床	有	有	有
			有	有	有	
			有	有	有	
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	483.43 m ² 台	病床数	41 床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	79.8 m ²			
化学検査室	468.78 m ²	〃	(主な設備) ※別紙1のとおり			
細菌検査室	198.36 m ²	〃	(主な設備) ※別紙1のとおり			
病理検査室	274.10 m ²	〃	(主な設備) ※別紙1のとおり			
病理解剖室	56.53 m ²	〃	(主な設備) ※別紙1のとおり			
研究室	26,018.13 m ²	〃	(主な設備) パソコン			
講義室	1,612.5 m ²	〃	室数	17 室	収容定員	1,257 人
図書室	2,838.18 m ²	〃	室数	6 室	蔵書数	277,070 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	94.5 %	逆紹介率	72.9 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		19,446 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		16,443 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,872 人
	D: 初診の患者の数		22,550 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤田 昌樹	福岡大学病院	○	医療安全の知識を持つ医師	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
押川 麻美	福岡大学病院		医療安全の知識を持つ看護師	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
鷺山 厚司	福岡大学病院		医療安全の知識を持つ薬剤師	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
平田 ナツ子			医療を受ける者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表の方法 病院ホームページへの掲載	

主 な 設 備

		機 器
化学検査室	生化学	グルコース(2台)
		グリコヘモグロビンHA-8182(2台)
		臨床化学自動分析装置 LABOSPECT008 α (緊急検査)
		臨床化学自動分析装置 LABOSPECT008 α
		自動浸透圧測定装置オズモステーション
		呼気中 ^{13}C O $_2$ 分析装置(POCONE ピロリ検査)
		ラピッドポイント500(2台) 血ガス
		自動分析装置ディメンション EXL200
	免疫	自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed
		全自動蛍光免疫測定装置ミュータスワコー i30
		エンドトキシン、 β -グルカン測定装置トキシノメーター MT-5500、拡張モジュール2台
		ステーション
		カテコールアミン分析計 HLC-725CA II
		全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミバルスL2400
		アーキテクトi2000 SR
		全自動電気泳動分析装置 Epalyzer 2 Junior
		コバス8000 e 801(2台)
	一般	便潜血、尿中、髄液定量自動測定装置 QUICK RUN
		尿化学分析装置クリテック ノーバス
	凝固	HISCL-5000
		全自動血液凝固分析装置コアプレスタ(2台)
輸血	全自動輸血検査装置オートビュー イノーバ	
輸血	全自動輸血検査装置オートビュー ビジョン	
細菌検査室	細菌検査	ウォークアウェイ DxM 1096(2台)
		cobas 6800可動式×1式 cobas TaqMan×1式
		自動同定感受性検査装置 バイテック2コンパクト
		自動培養自動分析バクテックFX Stack400
		質量分析装置MALDI
		遺伝子解析装置Verigene
病理検査室	病理検査	密閉式自動固定包埋装置(VIP6AI-J0)
		自動特殊染色装置(Ventana NX-SS System)
		自動免疫染色装置(Ventana BenchMark ULTRA)
		cobas [®] 4800システム(コバス480)
		自動HE染色装置(Ventana HE600)
		組織切片自動作製装置(ティシュー・テック スマートセクション SS-QAI)
病理解剖室		解剖台
		カメラ、モニター

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腹腔鏡下肝切除術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 腹腔鏡にて肝部分切除、外側区域切除以外にも、肝垂区域、1区域切除、2区域および3区域以上の切除を行うもので、術者の高度な解剖学的知識、技術習得が必要で施設基準が設けられている。			
医療技術名	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 開腹手術に比べ患者の身体的侵襲は非常に少ない。手術適応などの治療方針の検討を高い見識を持って適切に実施することが求められており、施設基準が設けられている。			
医療技術名	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝門部あるいは肝内胆管から膵内胆管まで広範に進展する胆管癌に対する根治術として肝膵同時切除が行われるが、肝切除が葉切除である場合、術式もたらず侵襲は高く、手術手技が進歩した今日においても術後合併症率や手術関連死亡率も極めて高く、高度の技術、周術期管理を必要とし、施設基準が設けられている。			
医療技術名	造血幹細胞移植	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要 難治性の造血器腫瘍および造血不全に対する根治治療としての造血細胞移植 自家移植 11件、同種移植 18件			
医療技術名	ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 子宮悪性腫瘍に対し、ロボット支援技術(Da Vinci Xi)を用いた手術を行う			
医療技術名	腹腔鏡下広汎子宮全摘術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 子宮頸がんに対する広汎子宮全摘術を腹腔鏡下に行う。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮体がんに対する傍大動脈リンパ節郭清術を腹腔鏡下に行う。			
医療技術名	胎児頻脈性不整脈に対する胎児治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 胎児頻脈性不整脈に対し、経母体的に抗不整脈薬を投与することで治療を行う。			
医療技術名	内視鏡下副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 前頭洞炎に対する内視鏡下前頭洞単洞化手術である。2015年に当院では施設基準を満たしている。			
医療技術名	経外耳道的内視鏡下耳科手術(TEES)	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 経外耳道的内視鏡下耳科手術(transcanal endoscopic ear surgery:TEES)は、耳下手術のほとんどのプロセスを内視鏡下で行う低侵襲手術であり、ハイビジョン画質(Full HD)の3CCDカメラを搭載した内視鏡と精細で高解像度な細径内視鏡の出現により、近年国内外で急速に普及しつつある。			

医療技術名	頭頸部癌再建術、頭蓋底手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 形成外科、食道外科と再建チームを編成し、頭頸部癌に対する拡大切除後の再建手術を行っている。 また、脳神経外科と協力し頭蓋底部に浸潤する腫瘍の一塊切除を目的とした頭蓋底手術を行っている。 これらの手術は高度な技術、またチーム医療が不可欠であり、特定機能病院として高度な医療を提供していると判断する。			
医療技術名	内視鏡下輪状咽頭筋切断術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 嚥下機能改善手術の一つである輪状咽頭筋切断術を経口法によって施行し嚥下障害を改善する術式である。 下咽頭憩室鏡と手術用顕微鏡を使用し、食道入口部を展開する操作により輪状咽頭筋隆起がはっきりと区別できるため、従来の外切開法に比べて低侵襲に行える長所があり、近年国内外で普及してきている。			
医療技術名	声帯内自家脂肪注入術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 一側声帯麻痺など発声時の声門閉鎖不全に対する手術で、脂肪組織を採取し精製した後に直達喉頭鏡下に声帯内に脂肪を注射する。術後に嗄声や嚥下障害の改善が期待出来る術式であり、近年普及して来た術式である。			
医療技術名	喉頭形成手術(人工形成材料装置術)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 甲状軟骨を切開し人工材料を挿入する甲状軟骨形成術と、披裂軟骨を糸で牽引することで声帯を内転する披裂軟骨内転術があり、いずれも発声機能を回復させる手術である。 医療者の高度の技術を要し、なかでも甲状軟骨形成術II型は施設基準が設けられている。			
医療技術名	誤嚥防止手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 喉頭と気管を分離する術式、喉頭を閉鎖あるいは摘出する術式があり、いずれも重度嚥下障害による嚥下性肺炎を防止することができる。医療者の高度な解剖学的知識と、技術習得が必要である。			
医療技術名	ロボット支援下手術(呼吸器)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 ロボット支援胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術			
医療技術名	ロボット支援下手術(胃)	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 ロボット支援下胃全摘6例、ロボット支援下噴門側胃切除4例、ロボット支援下幽門側胃切除31例			
医療技術名	ロボット支援下手術(大腸)	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 ロボット支援下直腸切除術			
医療技術名	経肛門吻合術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する超低位前方切除術や括約筋間直腸切除術、大腸全摘手術などの再建における経肛門吻合術			
医療技術名	消化管術後の諸機能検査	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要 消化管の内圧検査、酸分泌機能検査			
医療技術名	ミトコンドリア脳筋症(MELAS)に対するL-アルギニン治療	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア脳筋症の一病型であり脳卒中様発作を主徴とする難病MELASの治療については、世界的にみて有効な治療法は見いだされていない。 L-アルギニン療法は、MELASの急性期治療および発作寛解期の脳卒中様発作の予防治療として効果的である。			

医療技術名	ミトコンドリア脳筋症の遺伝子診断	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 臨床的にミトコンドリア脳筋症を疑われた症例について、久留米大学医学部小児科の研究室でDNAを分離し、点変異の解析および、16.6kbのミトコンドリアDNAの全塩基解析を行っている。			
医療技術名	ミトコンドリア病のスクリーニングを目的としたGDF15の測定	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア病の診断は非常に難しいが、我々はミトコンドリア病の診断・重症度判定のバイオマーカーとしてGDF15が有用であることを発見し報告した。この評価法を用い、ミトコンドリア病が疑われる患者の検体でGDF15の測定を行って臨床的な貢献を行っている。			
医療技術名	低酸素療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 肺血流増多型の心不全を呈している新生児に対して低酸素療法を行うことにより肺血管抵抗を増強させ手術待機を可能にする。			
医療技術名	原発性免疫不全症の原因遺伝子診断研究	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 原発性免疫不全症の原因遺伝子を次世代シーケンサーを用いて、400遺伝子パネルで同定を試みる研究。			
医療技術名	自己炎症性疾患の原因遺伝子診断研究	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 自己炎症性疾患の原因遺伝子を次世代シーケンサーを用いて、25遺伝子パネルで同定を試みる研究。			
医療技術名	フローサイトメトリーを用いた原発性免疫不全症パネル診断	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 患者末梢血をもちいて免疫担当細胞の解析をおこない原発性免疫不全症診断を行う。			
医療技術名	脳保護を目的とした低体温療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 体温を軽度低体温に維持することで心肺停止蘇生後や重症頭部外傷での脳保護をねらう医療技術。 導入期・維持期・復温期を通して沈静下に人工呼吸器管理・循環管理を行うため、極めの細かい集中治療の装置とマンパワーを必要とする。			
医療技術名	正中部巨大脳腫瘍に対する経鼻・開頭同時手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 視交叉の下方や脳幹の腹側に進展する腫瘍は経鼻内視鏡手術が有用な反面、頭蓋内で前方や外側に進展する腫瘍に対しては開頭手術が優る。同時手術によりお互いの死角が担保され、摘出度を上げ残存腫瘍からの出血を予防する。			
医療技術名	悪性脳腫瘍に対する光線力学療(PDT)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 がん集積性を示す光感受性物質を予め患者に投与し、術中腫瘍摘出腔に術中レーザー光を照射することで悪性脳腫瘍の術後再発予防を期待する。放射線治療後の再発にも使用可能であるが、専用の照射装置が必要なため施設は限られる。			
医療技術名	ロボット支援前立腺悪性腫瘍手術	取扱患者数	64人
当該医療技術の概要 限局性前立腺癌に対する主たる根治治療法として従来の開腹あるいは腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術に比較してda Vinciシステムの利用により、さらに精密な手術操作が可能となり、結果として出血量の低減やがん根治性の向上、術後機能(勃起、尿禁制)維持の改善が期待される術式である。			
医療技術名	尿管鏡による上部尿路腫瘍の診断と治療	取扱患者数	49人
当該医療技術の概要 診断がしばしば困難とされる上部尿路腫瘍に対し、細径尿管鏡を用いた組織診断と適応症例に対するレーザー切除術を施行している。			

医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要 腹腔鏡手術は開腹手術に比して低侵襲手術であるが、特に腹腔鏡下腎部分切除術では高度な技術が必要であり、術後の腎機能に影響を与える阻血時間(腫瘍切除のために腎動脈を遮断する時間)が延長される。ロボット支援手術は、腹腔鏡手術では困難であった切除・縫合が正確かつ迅速に行えるため阻血時間が短縮され、術後の合併症も軽減される。また腹腔鏡手術では困難であった位置や大きさの腫瘍も切除可能となり、手術適応が拡大すると考えられている。			
医療技術名	重症外傷・多発外傷患者における外傷診療	取扱患者数	222人
当該医療技術の概要 重症外傷患者における最大の死因は制御困難な出血で、初期の止血戦略、異型輸血を含む大量輸血戦略、破綻した凝固系異常に対する早期からの高度な治療戦略が必要となる。さらに社会復帰、機能予後の改善を目指し、複数科にわたる集学治療が必要である。			
医療技術名	ドクターカー・ドクターヘリを用いた病院前救急診療	取扱患者数	633人
当該医療技術の概要 救急医・看護師・救命士が医療チームとなり、救急現場へ赴き、早期に救急現場から医療を開始するものである。専門医による救急現場での緊急処置、的確な病院選定、搬送時間の短縮と根治的治療までの時間短縮により、重症患者の救命に寄与している。			
医療技術名	心肺停止患者および重症頭部外傷患者における体温管理療法	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 心肺停止患者および重症頭部外傷患者の脳保護、社会復帰を目指すための脳指向型集中治療である。高体温を回避し、正常体温ないしは軽度の低体温を受傷早期より導入し、副悪寒まで合併症を回避しつつ、きめ細やかな人工呼吸管理下に全身管理を行っている。			
医療技術名	体外循環式心肺蘇生	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 循環が停止した患者に人工心肺装置を用いた蘇生療法である。神経学的に良好な予後、社会復帰を得るためには、導入に対する適切な判断力と、low-flow timeの短縮のための戦略、出血等の合併症に対する知識と技術を必要とする医療である。			
医療技術名	重症敗血症患者に対する集中治療	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要 重症敗血症患者では、循環不全(ショック)に加え、急性呼吸不全、急性腎障害、止血・凝固異常、その他多臓器の不全状態を合併する。人工呼吸器療法や血液浄化療法といった機械的補助を含め、全臓器の機能を維持しつつ高度な集中治療を提供している。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	146
2	筋萎縮性側索硬化症	42	57	特発性拡張型心筋症	123
3	脊髄性筋萎縮症	23	58	肥大型心筋症	262
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	2
5	進行性核上性麻痺	16	60	再生不良性貧血	106
6	パーキンソン病	563	61	自己免疫性溶血性貧血	27
7	大脳皮質基底核変性症	20	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	7
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	192
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	4
10	シャルコー・マリイ・トゥース病	14	65	原発性免疫不全症候群	18
11	重症筋無力症	196	66	IgA 腎症	251
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	104
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	111	68	黄色靱帯骨化症	140
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	42	69	後縦靱帯骨化症	331
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	18
17	多系統萎縮症	22	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	81	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライゾソーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	19
21	ミトコンドリア病	20	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	78	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	4	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	20	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	12	83	アジソン病	11
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	284
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	145
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	168
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	2
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	29
34	神経線維腫症	54	89	リンパ脈管筋腫症	8
35	天疱瘡	223	90	網膜色素変性症	75
36	表皮水疱症	13	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	19	92	特発性門脈圧亢進症	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	14	93	原発性胆汁性肝硬変	169
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	16
40	高安動脈炎	19	95	自己免疫性肝炎	164
41	巨細胞性動脈炎	12	96	クローン病	166
42	結節性多発動脈炎	22	97	潰瘍性大腸炎	451
43	顕微鏡的多発血管炎	61	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	92	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	32	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	18	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バーシャー病	43	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	2
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	OFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	413	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	220	105	チャージ症候群	5
51	全身性強皮症	60	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	79	107	若年性特発性関節炎	34
53	シェーグレン症候群	508	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	35	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	12	110	ブラウ症候群	5

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	11	161	家族性良性慢性天疱瘡	4
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	144
113	筋ジストロフィー	29	163	特発性後天性全身性無汗症	4
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	4
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	4
117	脊髄空洞症	34	167	マルファン症候群	44
118	脊髄髄膜瘤	16	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	1
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシビタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	29
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モフット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	6
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	3
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	2
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	3
133	メビウス症候群	1	183	ファイファー症候群	2
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	184	アントレー・ピクスラー症候群	1
135	アイカルディ症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	1	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	6
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	5
140	ドラベ症候群	2	190	鰓耳腎症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠伸てんかん	1	192	コケイン症候群	1
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	2	193	ブラダー・ウィリ症候群	13
144	レノックス・ガストー症候群	37	194	ソトス症候群	2
145	ウエスト症候群	9	195	ヌーナン症候群	9
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	198	4p欠失症候群	2
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	4
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	1
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	4
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マガニス症候群	1
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	8
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	49	206	脆弱X症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	12	207	総動脈幹遺残症	2
158	結節性硬化症	24	208	修正大血管転位症	11
159	色素性乾皮症	4	209	完全大血管転位症	12
160	先天性魚鱗癬	7	210	単心室症	26

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	3	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	16	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	103	263	脳腫黄色腫症	2
216	両大血管右室起始症	29	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	8	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	7	266	家族性地中海熱	60
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	62	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	3	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	10
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	4
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	15
224	紫斑病性腎炎	28	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	4	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	9	274	骨形成不全症	22
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	2	276	軟骨無形成症	11
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	3
230	肺胞低換気症候群	4	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	8
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	276	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	7	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	2
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	1	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	20	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	4
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	3
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	5	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	10	293	総排泄腔遺残	5
246	メチルマロン酸血症	11	294	先天性横隔膜ヘルニア	8
247	イソ吉草酸血症	3	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	25
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	6
250	グルタル酸血症2型	1	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	35	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	57
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	16
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	2	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	2
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	53

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナパン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	4	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	2	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	2	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	4
318	シトリン欠損症	19	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	4
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	0
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	2
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
歯科外来診療環境体制加算2	ハイリスク妊娠管理加算
歯科診療特別対応連携加算	ハイリスク分娩管理加算
特定機能病院入院基本料	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
特定機能病院入院基本料 ADL維持向上等体制加算(注10)	後発医薬品使用体制加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算1
超急性期脳卒中加算	データ提出加算
診療録管理体制加算2	入退院支援加算1
医師事務作業補助体制加算1(25対1)	入退院支援加算1に伴う地域連携診療計画加算
急性期看護補助体制加算25:1(看護補助者5割以上)	入退院支援加算1に伴う入院時支援加算(注7)
急性期看護補助体制加算 注2に掲げる夜間100対1急性期看護補助体制加算	認知症ケア加算1
急性期看護補助体制加算 注3に掲げる夜間看護体制加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	精神疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算2のロ
重症者等療養環境特別加算	地域医療体制確保加算
無菌治療室管理加算1	救命救急入院料1
無菌治療室管理加算2	救命救急入院料4
緩和ケア診療加算	特定集中治療室管理料1
精神科身体合併症管理加算	特定集中治療室管理料1 早期離床・リハビリテーション加算(注4)
精神科リエゾンチーム加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
摂食障害入院医療管理加算	総合周産期特定集中治療室管理料
栄養サポートチーム加算	新生児治療回復室入院医療管理料
医療安全対策加算1	小児入院医療管理料1
感染防止対策加算1	緩和ケア病棟入院料1
感染防止対策加算1 抗菌薬適正使用支援加算(注3)	精神科急性期治療病棟入院料1
患者サポート体制充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
高度難聴指導管理料	歯科治療時医療管理料
慢性維持透析患者外来医学管理料 腎代替療法実績加算(注3)	歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算
糖尿病合併症管理料	在宅患者歯科治療時医療管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 遠隔モニタリング加算(注2)
がん患者指導管理料イ	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
がん患者指導管理料ロ	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
がん患者指導管理料ハ	持続血糖測定器加算
がん患者指導管理料ニ	遺伝学的検査
外来緩和ケア管理料	骨髄微小残存病変量測定
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	BRCA1/2遺伝子検査
糖尿病透析予防指導管理料	がんゲノムプロファイリング検査
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	先天性代謝異常症検査
婦人科特定疾患治療管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
腎代替療法指導管理料	検体検査管理加算(Ⅰ)
外来放射線照射診療料	検体検査管理加算(Ⅳ)
療養・就労両立支援指導料 相談体制充実加算(注2)	国際標準検査管理加算
がん治療連携計画策定料	遺伝カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料1	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料2	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
肝炎インターフェロン治療計画料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
薬剤管理指導料	胎児心エコー法
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	ヘッドアップティルト試験
医療機器安全管理料1	人工腎臓 Ⅰ 慢性維持透析を行った場合1
医療機器安全管理料2	人工腎臓 ロ 導入期加算2(注2)
医療機器安全管理料(歯科)	人工腎臓 透析液水質確保加算(注9)
精神科退院時共同指導料	人工腎臓 慢性維持透析濾過加算(注13)
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算	人工臓器検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
皮下連続式グルコース測定	外来化学療法加算1
長期継続頭蓋内脳波検査	無菌製剤処理料
脳波検査判断料1	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
神経学的検査	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
補聴器適合検査	運動器リハビリテーション料(I)
ロービジョン検査判断料	呼吸器リハビリテーション料(I)
小児食物アレルギー負荷検査	がん患者リハビリテーション料
内服・点滴誘発試験	リンパ浮腫複合的治療料
センチネルリンパ節生検(単独)	歯科口腔リハビリテーション料2
CT透視下気管支鏡検査加算	経頭蓋磁気刺激療法
経気管支凍結生検法	精神科作業療法
有床義歯咀嚼機能検査 2 有床義歯咀嚼機能検査2 ロ 咬合圧測定のみを行う場合	認知療法・認知行動療法1
咬合圧検査	精神科ショート・ケア「大規模なもの」
精密触覚機能検査	精神科デイ・ケア「大規模なもの」
画像診断管理加算3	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症 治療指導管理料に限る。)
遠隔画像診断	医療保護入院等診療料
ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	エタノールの局所注入(甲状腺)
CT撮影及びMRI撮影	エタノールの局所注入(副甲状腺)
冠動脈CT撮影加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
血流予備量比コンピューター断層撮影	手術用顕微鏡加算
外傷全身CT加算	口腔粘膜処置
心臓MRI撮影加算	CAD/CAM冠
乳房MRI撮影加算	歯科技工加算
小児鎮静下MRI撮影加算	皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算)
頭部MRI撮影加算	組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術) の場合に限る。)
全身MRI撮影加算	処理骨再建加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	椎間板内酵素注入療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算(頭蓋内腫瘍摘出術その他のもの 注2)	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	経カテーテル大動脈弁置換術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下弁形成術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	胸腔鏡下弁置換術
角膜移植術(内皮移植加算)	経皮的中心筋焼灼術
羊膜移植術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(電池交換を含む。)
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	ペースメーカー移植術 リードレスペースメーカーの場合
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
網膜再建術	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	経皮的循環補助療法(ポンプカテーテルを用いたもの)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	補助人工心臓
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用具を用いたもの)	経皮的下肢動脈形成術
上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
乳がんセンチネルリンパ節加算1(併用法)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
乳がんセンチネルリンパ節加算2(単独法)	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	体外衝撃波胆石破碎術
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下肝切除術(Ⅱ区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	生体部分肝移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	歯根端切除手術の注3
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	レーザー機器加算
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	麻酔管理料(Ⅰ)
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	麻酔管理料(Ⅱ)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	放射線治療管理料 放射線治療専任加算
同種死体腎移植術	放射線治療管理料 外来放射線治療加算
生体腎移植術	高エネルギー放射線療法
膀胱水圧拡張術	1回線量増加加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	強度変調放射線治療(IMRT)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	画像誘導放射線治療(IGRT)(体外照射の注4)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	体外照射 体外照射呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	定位放射線治療
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算(その他のもの)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	保険医療機関間の連携による病理診断
胎児胸腔・羊水腔シャント術	病理診断料 病理診断管理加算2
胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	悪性腫瘍病理組織標本加算
医科点数表第2床第10部手術の通則の19に掲げる手術 乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)	口腔病理診断管理加算2
医科点数表第2床第10部手術の通則の19に掲げる手術 子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る)	クラウンブリッジ維持管理料
輸血管理料Ⅰ	歯科矯正診断料
輸血適正使用加算	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
自己生体組織接着剤作成術	
自己クリオプレシペート作製術(用手法)及び同種クリオプレシペート作製術	
人工肛門・人工膀胱造設前処置加算	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
歯周組織再生誘導手術	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	脂肪幹細胞移植による肛門機能改善に関する研究	藤田 文彦	外科	1,000,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
2	潰瘍性大腸炎を起点とする炎症促進性因子を介した造腫瘍機械の解明と臨床応用	衣笠 哲史	外科	1,000,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
3	増殖組織特徴的遺伝子発現を基盤とした個別化「硝子体内分子切除」治療概念の確立	吉田 茂生	眼科	900,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
4	Beyond VEGFのアンメットニース:線維化と虚血へのマクロファージ教育療法	吉田 茂生	眼科	103,555	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
5	自然炎症局所制御による網膜前駆細胞誘導	吉田 茂生	眼科	200,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(B)
6	増殖性網膜硝子体疾患におけるRGS5の役割解明と革新的分子標的治療の展開	梅野 有美	眼科	1,700,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
7	急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立	長藤 宏司	血液・腫瘍内科	300,000	委 日本医療研究開発費(AMED)
8	ATLLに対するTCR遺伝子導入リンパ球輸注療法の第I相医師主導治験	長藤 宏司	血液・腫瘍内科	1,000,000	委 日本医療研究開発費(AMED)
9	IL-18, IL38と補体制御による炎症性肺疾患の治療の研究	星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	2,600,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
10	呼吸困難感の脳内基盤解明:安静時機能的MRIによる解析	谷脇 考恭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
11	新しい炎症ユニットPyrinインフラマソームの慢性炎症疾患における役割の検討	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	1,560,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
12	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	井田 弘明	呼吸器・神経・膠原病内科	500,000	補 難治性疾患等政策研究事業(厚生労働省)
13	多面的解析による努力性呼吸困難感の機序解明と新規バイオマーカーの開発	川山 智隆	呼吸器・神経・膠原病内科	1,560,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
14	新規サイトカインIL-38の機能解明の基盤研究と新規治療薬の開発	富永 正樹	呼吸器・神経・膠原病内科	910,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
15	アミノ酸プロファイルによるがん免疫微小環境の代謝リプログラミング評価とがん免疫治療患者層別化技術の開発	東 公一	呼吸器・神経・膠原病内科	28,990,000	委 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業(AMED)
16	ネオアンチゲン特異的な抗腫瘍免疫応答の解析と個別化がん免疫治療への応用	東 公一	呼吸器・神経・膠原病内科	650,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(B)
17	マスト細胞を介したシェーグレン症候群唾液腺炎メカニズム解析と治用への応用	海江田 信二郎	呼吸器・神経・膠原病内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
18	ステージ3肺がんにおけるPD-L1抗体+放射線療法の効果予測バイオマーカーの同定	時任 高章	呼吸器・神経・膠原病内科	2,730,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
19	EGFR肺がんにおける免疫チェックポイント阻害薬治療バイオマーカーの確立	石井 秀宣	呼吸器・神経・膠原病内科	1,690,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
20	非肥満若年成人の閉塞性睡眠時無呼吸における上気道虚脱の関与と新規治療薬の開発	外山 貴之	呼吸器・神経・膠原病内科	2,210,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
21	mRNA搭載ナノキャリアを用いたパーキンソン病モデルのドーパミン神経再生治療研究	貴田 浩志	呼吸器・神経・膠原病内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
22	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	牛嶋 公生	産婦人科	1,827,800	委 臨床研究・治験推進研究事業(AMED)
23	羊水細菌叢の網羅的解析による早産予防治療戦略構築のための基礎的研究	吉里 俊幸	産婦人科	1,560,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
24	新・光-電子相関顕微鏡法による異常形態ミトコンドリア形成過程と微細構造変化の解明	宮園 佳宏	歯科口腔医療センター	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
25	テロシンキナーゼ阻害分子 Sprouty による口腔癌リンパ節転移制御機構の解明	武富 孝治	歯科口腔医療センター	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
26	声帯粘膜の組織幹細胞システムと幹細胞ニッチ制御の解明	佐藤 公則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
27	喉頭乳頭腫における宿主局所免疫応答の解明	栗田 卓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究(B)
28	脂肪幹細胞を用いた声帯再生の基礎研究	梅野 博仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	60,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
29	発達障害の治療法の確立をめざすトランスレーショナルリサーチ	山下 裕史朗	小児科	900,000	補 精神・神経疾患研究開発費(国立精神・神経医療研究センター)
30	生体リズムに着目した発達障害の解析	山下 裕史朗	小児科	2,700,000	補 理化学研究所共同プロジェクト
31	唾液コルチゾール・MHPGは神経発達症診断・治療評価に有用か?	山下 裕史朗	小児科	1,040,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
32	アクティブラーニングによる親子コミュニケーション促進アプリの開発	永光 信一郎	小児科	1,560,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
33	親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究	永光 信一郎	小児科	10,682,000	補 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(厚生労働省)
34	身体的・精神的・社会的(biospsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究	永光 信一郎	小児科	1,000,000	補 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(厚生労働省)
35	思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション	永光 信一郎	小児科	5,850,000	補 日本医療研究開発費(AMED)
36	母子保健情報を活用した「健やか親子21(第2次)」の推進に向けた研究	永光 信一郎	小児科	700,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
37	思春期心身症に対する不登校予防のための教育・医学連携の学校健診システムの構築	永光 信一郎	小児科	130,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
38	細胞工学並びにオミックス解析を用いたTNF受容体周期性症候群の診療基盤構築	西小森 隆太	小児科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
39	レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明	弓削 康太郎	小児科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
40	ICTを活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発	石井 隆大	小児科	780,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
41	ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究—試薬からの希少疾病治療薬開発の試み—	古賀 靖敏	小児科	14,935,000	委 難治性疾患実用化研究事業(AMED)
42	GDF15を用いたミトコンドリア病・メタボリック症候群に対する創薬の基盤研究	古賀 靖敏	小児科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
43	次世代シーケンサーを用いたインフルエンザ患者の腸内細菌研究	田中 悠平	小児科	500,000	補 公益財団法人森永奉仕会
44	オキシステロールは小児急性肝不全のバイオマーカーとして有用か?	水落 建輝	小児科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
45	胆道閉鎖症診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	水落 建輝	小児科	1,170,000	委 難治性疾患実用化研究事業 (AMED)
46	小児期のウイルス性肝炎の病態解明と治療の標準化に関する研究	水落 建輝	小児科	330,000	委 肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業) (AMED)
47	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型に対する世界初・日本発の内科的治療法の確立に向けたブフェニールの医薬品開発研究	水落 建輝	小児科	175,500	委 難治性疾患実用化研究事業 (AMED)
48	小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	水落 建輝	小児科	100,000	補 難治性疾患等政策研究事業 (厚生労働省)
49	疾患特異的iPS細胞とモデルマウスを用いたAicardi-Goutieres症候群の中樞神経系炎症病態解明と治療薬開発・発症前診断の基盤構築	西小森 隆太	小児科	1,300,000	委 難治性疾患実用化研究事業 (AMED)
50	真に個別患者の診療に役立つ領域横断的に高い拡張性を有する変異・多型情報データベースの創成	西小森 隆太	小児科	500,000	委 臨床ゲノム情報統合データベース整備事業 (AMED)
51	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	西小森 隆太	小児科	1,500,000	補 難治性疾患等政策研究事業 (厚生労働省)
52	原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	西小森 隆太	小児科	1,100,000	補 難治性疾患等政策研究事業 (厚生労働省)
53	大動脈解離：細胞老化が招く組織恒常性破壊のメカニズム解明と治療戦略への応用	青木 浩樹	心臓・血管内科	6,240,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (B)
54	心筋リモデリングと心不全における非心室心筋細胞のJak/SOCS系の役割	安川 秀雄	心臓・血管内科	1,300,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
55	歯周炎症が動脈硬化におよぼす影響の解明～FDG-PET/CTを用いた検討～	田原 宣広	循環器病センター	1,170,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
56	免疫制御分子Sykを標的とした大動脈解離の病態解明と増悪阻止療法の開発	古荘 文	心臓・血管内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
57	超音波制御ウルトラファインバブルで組織標的性を高める薬剤性血管新生療法の開発	佐々木 健一郎	循環器病センター	1,690,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
58	住民検診の結果から考察する脂肪酸結合タンパクのメタボリック症候群への臨床応用	榎本 美佳	循環器病センター	650,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
59	大動脈解離における組織破壊の増幅機構を解明する：ATP分泌から見た病態解明	大野 聡子	心臓・血管内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
60	塩応答性分子SIKを標的とした大動脈解離病態解明	西田 憲史	心臓・血管内科	1,560,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
61	血清Thrombospondin-2の多面的作用を疫学的に解明する	足達 寿	心臓・血管内科	1,690,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
62	血管内皮機能に着目した大動脈解離病態：STAT3による炎症ゲートウェイの調節	平方 佐季	心臓・血管内科	1,170,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
63	アルドステロン高値が認知機能低下の予知因子となる	熊谷 英太	心臓・血管内科	390,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 若手研究
64	身体活動および座位時間と総死亡に関する前向きコホート研究	阪上 暁子	心臓・血管内科	1,040,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 若手研究
65	画期的なドキシソルピシン心筋症抑制方法－間欠的下肢虚血 (RIC) の持つ可能性－	下園 弘達	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 若手研究
66	左室駆出率が保たれた心不全の新しいパラダイム：血管平滑筋細胞を中心とした病態解明	柴田 龍宏	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 若手研究
67	接着斑シグナル分子FAKによる大動脈解離の病態解明と画期的な薬物治療の開発	眞島 涼平	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業 (科研費) 若手研究

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
68	虚血に対する心筋保護における非心筋細胞の役割 STAT3シグナル制御の視点から	楊井 俊之	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
69	超音波温浴を用いた新しい血管新生療法への挑戦	片伯部 幸子	心臓・血管内科	2,210,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
70	一般住民における血中PCSK9濃度測定は心血管イベントの予知因子となるか	濱村 仁士	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
71	大動脈解離におけるチロシンキナーゼSykによる生体防御機構の解明と治療応用	橋本 洋平	心臓・血管内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
72	超音波処理を施した酸化ストレス耐性細胞を用いる新規血管新生療法の開発	吉川 尚宏	心臓・血管内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
73	非虚血性心不全症例における左房-右室-右房連関と予後予測に関する検討	本多 亮博	心臓・血管内科	1,000,000	補 令和九年度第3回研究助成(公益財団法人木村記念循環器財団)
74	肺高血圧症における新しいバイオマーカーの確立～エラストグラフィによる肝線維化評価の肺高血圧症への応用～	枚山 陽一	心臓・血管内科	1,000,000	補 令和九年度第3回研究助成(公益財団法人木村記念循環器財団)
75	メタボリック症候群における脳腎関連メカニズム～AGEs-RAGE系の役割	深水 圭	腎臓内科	2,210,000	補 科学研究費助成事業(科研費)基盤研究(C)
76	腹膜透析患者のカルニチン補充療法とAGEsを介した腹膜機能障害抑制効果の解明	伊藤 佐久耶	腎臓内科	1,820,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究(B)
77	母子保健から始まるCKD予防のモデル地区をめざして	甲斐田 裕介	腎臓内科	2,080,000	補 科学研究費助成事業(科研費)基盤研究(C)
78	CO中毒による高次脳機能障害患者の社会復帰を目的とした包括的リハビリテーションに関する研究	松瀬 博夫	整形外科	10,769,000	補 労災疾病臨床研究事業費(厚生労働省)
79	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	佐藤 公昭	整形外科	250,000	補 難治性疾患等政策研究事業(厚生労働省)
80	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	平岡 弘二	整形外科	299,000	委 革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
81	独自開発の革新的な増殖制御型アデノウイルスの肉腫への承認申請を目指した医師主導治験	平岡 弘二	整形外科	1,950,000	委 革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
82	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	平岡 弘二	整形外科	520,000	委 革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
83	腱板断裂モデルを用いた間葉系幹細胞移植の治療効果	後藤 昌史	整形外科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費)基盤研究(C)
84	社会機能/QOL改善と出口戦略を見据えた睡眠障害のクリニカルパスの開発	内村 直尚	精神神経科	800,000	委 精神・神経疾患研究開発費(国立精神・神経医療研究センター)
85	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	三木 浩司	精神神経科	1,000,000	補 疾病・障害対策研究分野エイズ対策政策研究(厚生労働省)
86	トラウマへの気づきを高める“人-地域-社会”によるケアシステムの構築	大江 美佐里	精神神経科	661,700	委 戦略的創造研究推進事業(国立研究開発法人科学技術振興機構)
87	もの忘れ予防地域検診におけるポケット版嗅覚識別検査を用いた認知症早期発見の試み	柳本 寛子	精神神経科	2,210,000	補 科学研究費助成事業(科研費)基盤研究(C)
88	怒り・攻撃性がcomplex PTSD症状に及ぼす影響に関する研究	千葉 比呂美	精神神経科	910,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究
89	自覚的認識に注目した嗜癖問題の包括的理解と臨床的介入に関する研究	石田 哲也	精神神経科	1,170,000	補 科学研究費助成事業(科研費)若手研究(B)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
90	エネルギー代謝と慢性炎症を制御するミトコンドリアダイナミクス	野村 政壽	内分泌代謝内科	1,328,900	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
91	肥満者や2型糖尿病患者に見られる意志力低下とそのメカニズムの解明	田尻 祐司	内分泌代謝内科	559,359	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
92	生活習慣病における自律神経活動の特徴とそれに関連する因子の検討	岩田 慎平	内分泌代謝内科	1,758,691	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
93	ポストフリーラジカルをターゲットにした新規脳虚血治療の開発	森岡 基浩	脳神経外科	1,100,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
94	多様なエピジェネティクス異常に基づく悪性神経膠腫の体系化の確立と治療抵抗性の克服	中村 英夫	脳神経外科	1,000,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
95	慢性炎症をターゲットとした動脈硬化の機序解明と、新たな薬物治療の可能性	河野 隆幸	脳神経外科	1,200,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
96	新たな嗅粘膜刺激電極を用いた嗅覚モニタリングおよび高次脳機能障害への治療応用	坂田 清彦	脳神経外科	2,000,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
97	血行再建併用intensive cell supplyによる脳梗塞治療法の確立	折戸 公彦	脳神経外科	1,100,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
98	脳原発悪性リンパ腫における上皮間葉転換誘導因子の解析に基づく診断と治療への展開	中村 英夫	脳神経外科	50,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
99	進行性尿路がんに対する次世代個別化がんペプチドワクチン療法の開発	末金 茂高	泌尿器科	910,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
100	マウスを用いた男性生殖器における嗅覚化学感覚細胞の組織内分布と解剖学的特徴の解明	上村 慶一郎	泌尿器科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
101	粘膜類天疱瘡患者血中抗ラミニン332抗体のエピトープ解析	古賀 浩嗣	皮膚科	1,171,707 (H30年度繰越)	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究(B)
102	従来のデスマグレイン抗体と異なるデスマコリン抗体からアプローチする天疱瘡病態解明	古賀 浩嗣	皮膚科	1,690,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
103	皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究	大畑 千佳	皮膚科	600,000	補 難治性疾患等政策研究事業(厚生労働省)
104	各種自己免疫性水疱症における免疫グロブリンクラススイッチ過程の追跡と病原性の研究	石井 文人	皮膚科	195,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
105	ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者を対象としたリツキシマブの医師主導治験	石井 文人	皮膚科	300,001	委 日本医療研究開発費(AMED)
106	子宮頸癌の化学放射線療法におけるPD-L1とCD8陽性T細胞の動態研究	宮田 裕作	放射線科	700,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究(B)
107	IL-22BP依存性制御性B細胞がアブスコパル効果に及ぼす影響の検討	氷室 秀知	放射線科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究(B)
108	新たな根治的粒子線治療を実現する吸収性スプレーの適応拡大と実用化研究	淡河 恵津世	放射線腫瘍センター	199,999	補 革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
109	高静磁場MRIに適用可能な低磁性生体用形状記憶・超弾性合金の開発	田上 秀一	放射線科	350,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 挑戦的研究(萌芽)
110	DREADOシステムを利用した脊髄後角HCN4をターゲットとした疼痛治療開発	大下 健輔	麻酔科	1,500,000円	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
111	地域の応じた肝炎ウイルス診療連携体制構築の立案に資する研究(福岡県における診療連携の体制構築とデータ収集)	鳥村 拓司	消化器内科	1,000,000	補 肝炎等克服緊急対策研究事業(厚生労働省)
112	高ずり応力を伴う循環器難病に随伴する出血性合併症予知法の開発	鳥村 拓司	消化器内科	130,000	補 難治性疾患実用化研究事業(AMED)
113	肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究班(C型肝炎ウイルス駆除の肝発がん抑制効果に関する検討)	鳥村 拓司	消化器内科	1,000,000	補 肝炎等克服政策研究事業(厚生労働省)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
114	腸内細菌叢の網羅的解析による肝細胞癌での抗PD-1抗体の治療効果予測因子の探索	鳥村 拓司	消化器内科	1,820,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
115	新規クローン病特異的抗体の対応抗原を探索する	光山 慶一	消化器内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
116	TCF-4/GLAUDIN-2/HES1軸による肝癌幹細胞様形質制御	古賀 浩徳	消化器内科	1,040,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
117	肝炎ウイルス検査受診から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究	井出 達也	消化器内科	500,000	補 肝炎等克服緊急対策研究事業(厚生労働省)
118	職域等も含めた肝炎ウイルス検査受診率向上と陽性者の効果的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	井出 達也	消化器内科	250,000	補 肝炎等克服緊急対策研究事業(厚生労働省)
119	肝硬変患者における筋肉—肝臓連関の免疫学的解明に基づく治療戦略の構築	川口 巧	消化器内科	2,600,000	補 肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)(AMED)
120	ウイルス性肝疾患を含む代謝関連肝がん発生の病態解明に関する研究	川口 巧	消化器内科	3,640,000	補 肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)(AMED)
121	運動誘発性筋ホルモンirisinによるNASH関連肝癌抑制効果の検討	川口 巧	消化器内科	1,690,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
122	NASHに対するCD34陽性細胞製剤による高効率な肝再生促進と発癌抑制療法の開発	中村 徹	消化器内科	1,430,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
123	肝癌および非アルコール性肝炎に対する生体内抗酸化因子による治療法の開発	吉田 隆文	消化器内科	1,040,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
124	難治性疾患等を対象とする持続可能で効率的な医療の提供を実現するための医療経済評価の手法に関する研究	桑木 光太郎	消化器内科	200,000	補 難治性疾患等政策研究事業(厚生労働省)
125	腫瘍血管特異的なノンコーディングRNAを標的とした新規血管新生抑制治療の確立	岩本 英希	消化器内科	1,300,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
126	唾液中エクソソーム由来腫瘍特異的microRNAの同定による腫瘍早期診断	阪上 尊彦	消化器内科	2,210,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
127	細胞周期依存性PD-L1, Fas/CD95の発現変動を応用した肝癌治療法の確立	田中 俊光	がん集学治療センター	1,560,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究
128	SGLT2阻害剤が肝癌におよぼす影響	中野 暖	消化器内科	1,690,000	補 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Naoki Hashizume, Yoshiaki Tanaka, Motomu Yoshida, et al.	小児外科	Resting energy expenditure prediction using bioelectrical impedance analysis in patients with severe motor and intellectual disabilities	Brain & Development 41. 2019 Apr; 352-358	Original Article
2	Daisuke Masui, Suguru Fukahori, Shinji Ishii, et al.	小児外科	The assessment of the esophageal motility of children with esophageal disorders by the detailed observation of the pH- multichannel intraluminal impedance waveform and baseline impedance : screening test potential	Esophagus16 (2). 2019 Apr :133-140	Original Article
3	Naoki Hashizume, Yoshiaki Tanaka, Suguru Fukahori, et al.	小児外科	Adherences to oral nutritional supplementation among hospital outpatients: An online cross- sectional survey in Japan.	PLOS ONE. 2019 Sep 26;14 (9) :e0222972. doi: 10.1371/journal.pone.0222 972. PMID: 31557201;PMCID: PMC6762170.	Original Article
4	Suguru Fukahori, Hisayoshi Kawahara, Takanori Oyama, et al.	小児外科	Standard protocol devised by the Japanese Pediatric Impedance Working Group for combined multichannel intraluminal impedance-pH measurements in children	Surg Today. 2019 Jun 18. doi: 10.1007/s00595-019- 01833-6. Epub ahead of print. Erratum in: Surg Today. 2019 Nov 12;: PMID: 31214780.	Original Article
5	Daisuke Masui, Suguru Fukahori, Naoki Hashizume, et al.	小児外科	High-flow nasal cannula therapy for severe tracheomalacia associated with esophageal atresia	Japan Pediatric Society 61 (10). 2019 Oct; 1060- 1061	Case report
6	Daisuke Masui, Suguru Fukahori, Tatsuki Mizuochi, et al.	小児外科	Cystic biliary atresia with paucity of bile ducts and gene mutation in KDM6A: a case report	Surgical Case Reports 5:132. 2019 Aug; 1-6	Case report
7	Naruki Higashidate, Suguru Fukahori, Naoki Hashizume, et al.	小児外科	Does clinical score accurately support fecoflowmetry as a means to assess anorectal motor activity in pediatric patients after anorectal surgery?	Asian journal of surgery. S1015-9584 (20) 30064-6. 2020 Mar 11; doi:10.1016/j.asjsur.2020 .02.011	Original Article
8	Nagasu S	外科	Y-box-binding protein 1 inhibits apoptosis and upregulates EGFR in colon cancer.	ONCOLOGY REPORTS 41 (5) 2 2019 May; 2889-2896	Original Article
9	Yoshida T	外科	Long-Term Outcomes Following Partial Versus Complete Cystectomy in Advanced Colorectal Cancer with Regarding to the Extent of Bladder Invasion	Ann Surg Oncol;26:1569- 576. 2019 May	Original Article
10	Hisaka T	外科	Sinusoidal Obstruction Syndrome and Postoperative Complications Resulting from Preoperative Chemotherapy for Colorectal Cancer Liver Metastasis.	ANTICANCER RESEARCH 39 (8). 2019 Aug; 4549- 4554	Original Article
11	Matsumoto, R.	外科	Temporary airway stenting for giant anterior mediastinal tumor biopsy: Two case reports	International Journal of Clinical Oncology 24 (10). 2019 Oct; 1204- 1213	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	専攻科 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
12	Saisho H, Tobinaga S, Yoshida S, et al.	外科	Surgical repair of Stanford type A acute aortic dissection with extreme tuberculosis-related mediastinal deviation	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 29 (5). 2019 Nov; 800-802	Case report
13	Takagi K, Otsuka H, Takaseya T, et al.	外科	Left ventricular apical pseudoaneurysm with aortic prosthetic valve endocarditis.	J Card Surg 35 (1). 2020 Jan; 246-249	Case report
14	Saku K, Tobinaga S, Oryoji A, et al.	外科	Florida sleeve technique for a right sinus of Valsalva aneurysm: a case report	Surgical Case Reports 5 (1). 2019 Aug; 125	Case report
15	Yoshida S, Yamamoto M, Aoki H, et al.	外科	STAT3 Activation Correlates with Adventitial Neutrophil Infiltration in Human Aortic Dissection	Ann Vasc Dis 12 (2). 2019 May; 187-193	Original Article
16	Saku K, Shintani Y, Tahara N, et al.	外科	Inflammatory reaction of a pericardial foreign body after cardiac surgery.	J Nucl Cardiol 26 (1). 2019 Feb; 328-329	Original Article
17	Sato T, Hisaka T, Sakai H, et al	外科	Clinicopathological Study of Resections of Intraductal Papillary Neoplasm of the Bile Duct.	Anticancer Res. 39 (8). 2019 Aug; 4569-4573	Original Article
18	Midorikawa R, Hisaka T, Sakai H, et al	外科	Clinical and Prognostic Significance of Neoplastic Spindle Cells in Gallbladder Cancer.	Anticancer Res. 39 (8). 2019 Aug; 4561-4568	Original Article
19	Hisaka T, Ishikawa H, Sakai H, et al	外科	Sinusoidal Obstruction Syndrome and Postoperative Complications Resulting from Preoperative Chemotherapy for Colorectal Cancer Liver Metastasis.	Anticancer Res. 39 (8). 2019 Aug; 4549-4554	Original Article
20	Naito Y, Ishikawa H, Sadashima E, et al	外科	Significance of neoadjuvant chemoradiotherapy for borderline resectable pancreatic head cancer: Pathological local invasion and microvessel invasion analysis.	Mol Clin Oncol. 11 (3). 2019 Sep; 225-233	Original Article
21	Ryu T, Takami Y, Wada Y, et al	外科	A Clinical Scoring System for Predicting Microvascular Invasion in Patients with Hepatocellular Carcinoma Within the Milan Criteria.	J Gastrointest Surg. 23 (4). 2019 Apr; 779-787	Original Article
22	Mihara Y, Akiba J, Ogasawara S, et al	外科	Malic enzyme 1 is a potential marker of combined hepatocellular cholangiocarcinoma, subtype with stem-cell features, intermediate-cell type.	Hepatol Res. 49 (9). 2019 Sep; 1066-1075	Original Article
23	Taniwaki S, Hisaka T, Sakai H, et al	外科	Sarcomatous Component in Pancreatic Adenosquamous Carcinoma: A Clinicopathological Series of 7 Cases.	Anticancer Res. 39 (8). 2019 Aug; 4575-4580	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
24	Akashi M, Hisaka T, Sakai H, et al	外科	Expression of Matrix Metalloproteinases in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas.	Anticancer Res. 39 (8). 2019 Aug; 4485-4490	Original Article
25	Shigaki T, Hisaka T, Fujita F, et al	外科	Mixed ductal-acinar cell carcinoma of the pancreas: A case report.	Mol Clin Oncol. 10 (5). 2019 May 11; 516-520	Case report
26	Yaita K*, Gotoh K*, Nakano R, et al. *These authors contributed equally to work described in this paper.	感染制御科	Biofilm-forming by carbapenem resistant Enterobacteriaceae may contribute to the blood stream infection.	Int J Mol Sci. 2019 Nov 20; 5954; doi:10.3390/ijms20235954 (オンライン)	Original Article
27	Tatara K, Gotoh K, Okumiya K, et al.	感染制御科	Molecular epidemiology, antimicrobial susceptibility, and characterization of fluoroquinolone non-susceptible Streptococcus pyogenes in Japan.	J Infect Chemother. 2020 Mar 26; 280-284.	Original Article
28	Haruta M, Ishibashi K, Ishibashi Y, et al.	眼科	Multiple retinal vein thromboses after intravitreal aflibercept injections for age-related macular degeneration.	Acta Ophthalmologica. 98 (4):e527-e528. 2020 Jan	Letter
29	Sakamoto A, Rikimaru H, Rikimaru-Nishi Y, et al.	形成外科・顎顔面外科	Experimental study on maintaining the curvature of transplanted cartilage: Influence of the number of cartilage struts	Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery. 2019 Aug ; 72: 1340-1346	Original Article
30	Nagafuji K, Matsumura I, Shimose T, et al.	血液・腫瘍内科	Cessation of nilotinib in patients with chronic myelogenous leukemia who have maintained deep molecular responses for 2 years: a multicenter phase 2 trial, stop nilotinib (NILSt)	Int J Hematol. 2019 Dec; 110 (6) :675-682	Original Article
31	Nagafuji K, Miyamoto T, Eto T, et al.	血液・腫瘍内科	Prospective evaluation of minimal residual disease monitoring to predict prognosis of adult patients with Ph-negative acute lymphoblastic leukemia	Eur J Haematol. 2019 Sep; 103 (3) :164-171	Original Article
32	Morishige S, Mizuno S, Ozawa H, et al.	血液・腫瘍内科	CRISPR/Cas9-mediated gene correction in hemophilia B patient-derived iPSCs	Int J Hematol. 2020 Feb; 111 (2) :225-233	Original Article
33	Morishige S, Nishi M, Saruta H, et al.	血液・腫瘍内科	Complete response following toxic epidermal necrolysis in relapsed adult T cell leukemia/lymphoma after haploidentical stem cell transplantation	Int J Hematol. 2019 Oct; 110 (4) :506-511	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
34	Ishii H, Azuma K, et al	呼吸器内科	Determination of Somatic Mutations and Tumor Mutation Burden in Plasma by CAPP-Seq during Afatinib Treatment in NSCLC Patients Resistance to Osimertinib.	Sci Rep. 2020 Jan ; 10:691	Original Article
35	Tokunaga Y, Imaoka H, Kaku Y, et al.	呼吸器内科	The significance of cd163 expressing macrophages in asthma.	Ann Allergy Asthma Immunol . 2019 Sep; 123 (3) :263-270.	Original Article
36	Sasaki J, Kawayama T, Yoshida M, et al.	呼吸器内科	Adherence barriers to inhaled medicines in japanese older patients with asthma evaluated using the 'adherence starts with knowledge 20' (ask-20) questionnaire.	J Asthma 2019 Jun; 56 (6) :632-641.	Original Article
37	Okamoto M. et al.	呼吸器内科	Ability of periostin as a new biomarker of idiopathic pulmonary fibrosis.	Advances in experimental medicine and biology;1132:79-87. 2019 Apr.	Others
38	Matsuo N, Azuma K, et al.	呼吸器内科	Association between soluble immune mediators and tumor responses in patients with nonsmall cell lung cancer treated with anti-pd-1 inhibitor.	Int J Cancer 2019 Mar 1; 144:1170-9.	Original Article
39	Nakamura M, Okamoto M, et al.	呼吸器内科	A retrospective study of the tolerability of Nintedanib for severe idiopathic pulmonary fibrosis in the real world.	Ann Transl Med 2019 Jun; 7 (12) :262.	Original Article
40	Kamada T, Miura S, Harada M, et al.	脳神経内科	Bilateral cingulate cortices lesions in two autoantibodies directed against MOG (MOG-Ab)-positive patients.	Mult Scler Relat Disord. 2019 Apr; 29:108-10.	Original Article
41	Miura S, et al.	脳神経内科	TDRKH is a candidate gene for an autosomal dominant distal hereditary motor neuropathy.	Eur J Med Genet 2019 Dec; 62 (12) :103594.	Original Article
42	Horinouchi T, Yoshizato T, Muto M, et al	産婦人科	Gestational age-related changes in shear wave speed of the uterine cervix in normal pregnancy at 12-35 weeks' gestation	J Perinat Med. 2019 May; 47 (4) :393-401	Original Article
43	Nishio S, Mikami Y, Tokunaga H, et al	産婦人科	Analysis of gastric-type mucinous carcinoma of the uterine cervix- An aggressive tumor with a poor prognosis : A multi - institutional study	Gynecol Oncol. 2019 Apr; 153 (1) :13-19	Original Article
44	Ushijima K	産婦人科	Fertility sparing treatment for early stage endometrial cancer: current situation and new strategy	J Gynecol Oncol. 2019 Nov (オンライン)	Others

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	専攻者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
45	Nishio S, Matsumoto K, Shibata T, et al	産婦人科	Changes in the clinicopathological demographics of vulvar cancer in Japan: increasing oldest-old, stage shifting, and decreasing cohort-level survival	J Clin Med. 2019 Nov (オンライン)	Original Article
46	Kikuta S, Iwanaga J, Kusukawa J, et al.	歯科口腔医療センター	Anatomical study: the potential movability of inferior alveolar nerve	Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology 128 (4) 353-356, 2019 Oct.	Original Article
47	Kikuta S, Iwanaga J, Kusukawa J, et al.	歯科口腔医療センター	An anatomical study of the lingual nerve in the lower third molar area	Anatomy & Cell Biology 52 (2) 140-142, 2019 Jun.	Original Article
48	Kikuta S, Iwanaga J, Kusukawa J, et al.	歯科口腔医療センター	Triangles of the neck: A review with clinical/surgical applications	Anatomy & Cell Biology 52 (2) 120-127, 2019 Jun.	Original Article
49	Kikuta S, Iwanaga J, Watanabe K, et al.	歯科口腔医療センター	The feasibility of using the posterior auricular branch of the facial nerve as a donor for facial nerve reanimation procedures: a cadaveric study	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 77 (7) e1-e8, 2019 Jul.	Original Article
50	Kikuta S, I Jenkins S, Kusukawa J, et al.	歯科口腔医療センター	Ansa cervicalis: a comprehensive review of anatomy, variations, pathology and clinical applications	Anatomy & Cell Biology 52 (3) 221-225, 2019 Sep.	Review
51	Kikuta S, Iwanaga J, Watanabe K, et al.	歯科口腔医療センター	A relationship between the supratrochlear nerve and trochlea: anatomical study and application to migraine headaches	Journal of Craniofacial Surgery 30 (8) 2497-2498, 2019 Nov.	Others
52	Kikuta S, Iwanaga J, Kusukawa J, et al.	歯科口腔医療センター	Carotid sinus nerve: a comprehensive review of its anatomy, variations, pathology, and clinical applications	World Neurosurgery 127 370-374, 2019 Jul.	Others
53	Hirashima S, Ohta K, Kanazawa T, et al.	歯科口腔医療センター	Three-dimensional ultrastructural and histomorphological analysis of the periodontal ligament with occlusal hypofunction via focused ion beam/scanning electron microscope tomography	Scientific Reports. 2019 Jul. (オンライン)	Original Article
54	Kikuta S, Iwanaga J, Watanabe K, et al.	歯科口腔医療センター	Anatomical feasibility study of the digastric branch of the facial nerve: A potential donor for facial nerve reanimation	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 77 (8) 1733. e1-1733. e6, 2019 Aug.	Original Article
55	Takeharu Ono, Kiyohiko Sakata, Norimitsu Tanaka, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Salvage surgery for a locally persistent or recurrent tumour in maxillary cancer patients who have undergone radiotherapy and concomitant intra-arterial cisplatin: implications for surgical margin assessment	Int J Oral Maxillofac Surg 48:567-575, 2019 May	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	事業所名の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
56	Shintaro Sueyoshi, Shun-ichi Chitose, Kiminori Sato, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Stable tracheal regeneration using organotypically cultured tissue composed of autologous chondrocytes and epithelial cells in beagles	Ann Otol Rhinol Laryngol 128: 585-594, 2019 Jul	Original Article
57	Fumihiko Sato, Takeharu Ono, Akihiko Kawahara, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognostic impact of p16 and PD-L1 expression in patients with oropharyngeal squamous cell carcinoma receiving a definitive treatment	J Clin Pathol 72: 542- 549, 2019 Aug	Original Article
58	Kiminori sato, Shun-ichi Chitose, Kminobu Sato, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Metabolic activity of cells in the macula flava of the human vocal fold from the aspect of mitochondrial microstructure	Laryngoscope Investig Otolaryngol 4:405-409, 2019 Jun	Original Article
59	Shun-ichi Chitose, Yasuro Shin, Kiminori Sato, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Three-dimensional imaging of upper esophageal sphincter resting pressure.	Laryngoscope Investig Otolaryngol 4; 645-652, 2019 Nov	Original Article
60	Nishikomori R, Izawa K, Kambe N, et al.	小児科	Low-frequency mosaicism in cryopyrin-associated periodic fever syndrome: mosaicism in systemic autoinflammatory diseases.	International immunology. 2019 Sep; 31(10):649-55.	Review
61	Ozono S, Nagamitsu S, Matsuishi T, et al.	小児科	Reliability and validity of the Children's Depression Inventory-Japanese version.	Pediatr Int. 2019 Nov; 61(11):1159-1167.	Original Article
62	Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, et al.	小児科	Validation of a childhood eating disorder outcome scale.	Biopsychosoc Med. 2019 Sep 11;13:21.	Original Article
63	Yae Y, Kawano G, Yokochi T, et al.	小児科	Fulminant acute disseminated encephalomyelitis in children.	Brain Dev. 2019 Apr; 41(4):373-377.	Original Article
64	Sakai S, Nagamitsu S, Koga H, et al.	小児科	Y: Characteristics of socially high-risk pregnant women and children's outcomes.	Pediatr Int. 2020 Feb; 62(2):140-145.	Original Article
65	Yasuda R, Mizuochi T, Kitamura M, et al.	小児科	Canakinumab eliminates resistant familial Mediterranean fever in a Japanese girl.	Pediatr Int 2019 Nov; 61:1173-1174.	Case report
66	Konishi KI, Mizuochi T, Takaki Y, et al.	小児科	Anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-positive optic neuritis in a girl with ulcerative colitis.	J Pediatr Gastroenterol Nutr 2019 Oct; 69:e117.	Case report
67	Koga Y, Povalko N, Inoue E, et al.	小児科	Biomarkers and clinical rating scales for sodium pyruvate therapy in patients with mitochondrial disease	Mitochondrion. 2019 Sep;48:11-15.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	事業報告書の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
68	Konishi KI, Mizuochi T, Yanagi T, et al.	小児科	Clinical Features, Molecular Genetics, and Long-Term Outcome in Congenital Chloride Diarrhea: A Nationwide Study in Japan.	J Pediatr 2019 Nov; 214:151-157.	Original Article
69	Takaki Y, Mizuochi T, Eda K, et al.	小児科	Laboratory values in Japanese children with newly diagnosed inflammatory bowel disease.	Pediatr Int 2019 Jul; 61:720-725.	Original Article
70	Takeuchi T.	小児科	Factors Involved in the Degeneration of Lymphoid Tissue in the Appendix.	Kurume Med J 2020 Jan;65:123-127.	Original Article
71	Nishida M, Aoki H, Ohno-Urabe S, et al.	心臓・血管内科	High salt intake worsens aortic dissection in mice: Involvement of IL(Interleukin)-17A-dependent ECM(Extracellular Matrix) metabolism.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2020 Jan;40(1):189-205.	Original Article
72	Nohara-Shitama Y, Adachi H, Enomoto M, et al.	心臓・血管内科	Habitual coffee intake reduces all-cause mortality by decreasing heart rate.	Heart Vessels. 2019 Nov;34(11):1823-1829.	Original Article
73	Shimamatsu J, Sasaki K, Katsuki Y, et al.	心臓・血管内科	Prasugrel effectively reduces the platelet reactivity units in patients with genetically metabolic dysfunction of cytochrome P450 2C19 who are treated with long-term dual antiplatelet therapy after undergoing drug-eluting stent implantation.	Heart Vessels. 2020 Mar;35(3):312-322.	Original Article
74	Sasaki M, Mitsutake Y, Ueno T, et al.	心臓・血管内科	Low ankle brachial index predicts poor outcomes including target lesion revascularization during the long-term follow up after drug-eluting stent implantation for coronary artery disease.	J Cardiol. 2020 Mar;75(3):250-254.	Original Article
75	Ohe M, Haraguchi G, Kumanomido J, et al.	心臓・血管内科	New tailored approach using a revised assessment of fragmented potentials for persistent atrial fibrillation: Early area defragmentation by modified CFAE module.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2019 Jun;30(6):844-853.	Original Article
76	Tahara N, Bekki M, Sugiyama Y, et al.	循環器病センター	Importance of extracardiac FDG uptake to diagnose cardiac sarcoidosis.	J Nucl Cardiol. 2020 Feb;27(1):118-122.	Original Article
77	Hirakata S, Aoki H, Ohno-Urabe S, et al.	心臓・血管内科	Genetic deletion of Socs3 in smooth muscle cells ameliorates aortic dissection in mice.	JACC Basic Transl Sci. 2020 Jan 8;5(2):126-144.	Original Article
78	Adachi H, Kakuma T, Kawaguchi M, et al.	心臓・血管内科	Effects of eplerenone on blood pressure and glucose metabolism in Japanese hypertensives with overweight or obesity	Medicine (Baltimore). 2019 Apr;98(15):e14994. (オンライン)	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
79	Tahara N, Kojima R, Yoshida R, et al.	循環器病センター	Serum levels of protein-bound methylglyoxal-derived hydroimidazolone-1 are independently correlated with asymmetric dimethylarginine.	Rejuvenation Res. 2019 Oct;22 (5) :431-438.	Original Article
80	Ito S, Hashimoto Y, Majima R, et al.	心臓・血管内科	MRTF-A promotes angiotensin II-induced inflammatory response and aortic dissection in mice.	PLOS ONE. 2020 Mar 24;15 (3) :e0229888. (オンライン)	Original Article
81	Kagiyama K, Ueno T, Mitsutake Y, et al.	心臓・血管内科	First experience of robotic-assisted percutaneous coronary intervention in Japan.	Intern Med. 2019 Dec 1;58 (23) :3415-3419.	Case report
82	Kumanomido J, Ohe M, Nakao E, et al.	心臓・血管内科	Cryoballoon ablation induced hyperkalemia due to possible cold agglutinin disease.	Intern Med. 2019 Dec 1;58 (23) :3421-3425.	Case report
83	Bekki M, Tahara N, Tahara A, et al.	心臓・血管内科	Anti-inflammatory effect of statin in coronary aneurysms late after Kawasaki disease.	J Nucl Cardiol. 2019 Apr;26 (2) :671-673.	Case report
84	Maeda S, Tahara N, Takase F, et al.	心臓・血管内科	Diagnostic performance of FDG-PET/CTA in native mitral valve endocarditis.	J Nucl Cardiol. 2019 Apr;26 (2) :681-683.	Case report
85	Tahara N, Bekki M, Sugiyama Y, et al.	循環器病センター	Importance of extracardiac FDG uptake to diagnose cardiac sarcoidosis.	J Nucl Cardiol. 2020 Feb;27 (1) :118-122	Others
86	Taguchi K, Elias BC, Brooks CR, et al	腎臓内科	Uremic toxin-targeting as a therapeutic strategy for preventing cardiorenal syndrome.	Circ J. 25;84: 2-8, 2019 Dec	Review
87	Fujisawa H, Nakayama Y, Nakao S, et al	腎臓内科	Effectiveness of immunosuppressive therapy for nephrotic syndrome in a patient with late-onset Fabry disease: a case report and literature review.	BMC Nephrol. 17;20:469, 2019 Dec	Case report
88	Sato K, Yamada K, Yokosuka K, et al.	整形外科	The research group for spine and spinal cord disorders (Honnekai) Pyogenic spondylitis: clinical features, diagnosis and treatment.	Kurume Medical Journal. 2019 Aug;65 (3) :83-89	Original Article
89	Matsuse H, Segal NA, Rabe KG, et al.	整形外科	The Effect of Neuromuscular Electrical Stimulation during Walking on Muscle Strength and Knee Pain in Obese Women with Knee Pain: A Randomized Controlled Trial.	Am J Phys Med Rehabil. 2020 Jan;99 (1) :56-64	Original Article
90	Nagamatsu A, Kawaguchi T, Hirota K, et al.	整形外科	Slow walking speed overlapped with low handgrip strength in chronic liver disease patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2019 Dec;49 (12) :1427-1440	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	著者名の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
91	Hashida R, Matsuse H, Bekki M, et al.	整形外科	Evaluation of Motor-Assisted Gloves (SEM Glove) for Patients with Functional Finger Disorders: A Clinical Pilot Study.	Kurume Med J. 2019 May 16;65 (2) :63-70	Original Article
92	Yoshida S, Trull B, Tsai T	整形外科	Double Fascial Flap Stabilization for Ulnar Nerve Instability After In Situ Decompression.	J Hand Surg Global Online. 2019 Oct;1 (4) :218- 221	Original Article
93	Naohisa Uchimura, Keisuke Nakatome, Kouji Miyata, et al.	精神神経科	Effect of ramelteon coadministered with antidepressant in patients with insomnia and major depressive disorder: an exploratory study	Sleep and Biological Rhythms 2019 Jul; 17 (4) : 397-405	Original Article
94	Misari Oe, Masaharu Maeda, Tetsuya Ohira, et al.	精神神経科	Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study From the Fukushima Health Management Survey	Frontiers in Psychiatry 2019 May; 10 (283) :	Original Article
95	Sakata K, Takeshige N, Nagata Y, et al.	脳神経外科	Endoscopic endonasal removal of primary/recurrent meningiomas in the medial optic canal: Surgical technique and long-term visual outcome.	Operative Neurosurgery (Hagerstown) 2019 Nov;17 (5) :470-480	Original Article
96	Takeshige N, Aoki T, Sakata K, et al.	脳神経外科	Sagittal diffusion-weighted imaging in preventing the false-negative diagnosis of acute brainstem infarction: Confirmation of the benefit by anatomical characterization of false-negative lesions.	Surgical Neurology International. 2019 Sep; 10:180	Original Article
97	Komaki S, Sugita Y, Furuta T, et al.	脳神経外科	Expression of GLUT1 in pseudopalisaded and perivascular tumor cells is an independent prognostic factor for patients with glioblastomas.	Journal of Neuropathology and Experimental Neurology. 2019 May; 78 (5) :389-397	Original Article
98	Koga M, Aoki T, Negoto T, et al.	脳神経外科	Leptomeningeal carcinomatosis after neoplastic cerebral aneurysm rupture.	World Neurosurgery. 2019 Jun; 126:281-284	Case report
99	Kikuchi J, Takeuchi Y, Sugi K, et al.	脳神経外科	Gamma knife surgery-induced aneurysm rupture associated with tissue plasminogen activator injection: A case report and literature review.	Surgical Neurology International. 2019 Jul;10:150	Case report
100	Koga M, Hattori G, Maeda M, et al.	脳神経外科	Deep cervical artery as a source of bleeding in postoperative spinal epidural hematoma: A case report.	NMC Case Report Journal. 2019 May; 6 (3) :87-90	Case report
101	Sugita Y, Furuta T, Komaki S, et al.	脳神経外科	Malignant progression of an extraventricular neurocytoma arising from the VIIIth cranial nerve: A case report and literature review.	Neuropathology. 2019 Apr; 39 (2) :120-126	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	専攻有りの 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
102	Kiyoaki Nishihara, Shigetaka Suekane, Kousuke Ueda, et al.	泌尿器科	High postoperative neutrophil-to-lymphocyte ratio as a poor prognostic marker in patients with upper tract urothelial carcinoma	ONCOLOGY LETTERS 17:5241-5250. 2019 Jun	Original Article
103	Hirofumi Kurose, Yoshiki Naito, Jun Akiba, et al.	泌尿器科	High sulfite oxidase expression could predict postoperative biochemical recurrence in patients with prostate cancer	MEDICAL MOLECULAR MORPHOLOGY 52 (3) :164-172. 2019 Sep	Original Article
104	Hirofumi Kurose, Kosuke Ueda, Reiichiro Kondo, et al.	泌尿器科	Elevated Expression of EPHA2 Is Associated with Poor Prognosis After Radical Prostatectomy in Prostate Cancer	Anticancer Res 39 (11) :6249-6257, 2019 Nov	Original Article
105	Kosuke Ueda, Satoru Yonekura, Naoyuki Ogasawara, et al.	泌尿器科	The Impact of Antibiotics on Prognosis of Metastatic Renal Cell Carcinoma in Japanese Patients Treated With Immune Checkpoint Inhibitors	ANTICANCER RESEARCH 39:6265-6271, 2019 Nov	Original Article
106	Koganemaru M, Tanoue S, Kuhara A, et al.	放射線科	Internal coil packing method for the amplatzer vascular plug 4.	Diagn Interv Radiol, 25 : 410-412, 2019 Sep	Original Article
107	Naito Y, Ishikawa H, Sadashima E, et al	病理部	Significance of neoadjuvant chemoradiotherapy for borderline resectable pancreatic head cancer: Pathological local invasion and microvessel invasion analysis.	Mol Clin Oncol. 2019 Sep;11 (3) :225-233.	Original Article
108	Abe H, Takase Y, Sadashima E, et al	病理部	Insulinoma-associated protein 1 is a novel diagnostic marker of small cell lung cancer in bronchial brushing and cell block cytology from pleural effusions: Validity and reliability with cutoff value.	Cancer Cytopathol. 2019 Sep;127 (9) :598-605.	Original Article
109	Tetsuro Imai, Hiroshi Yamasaki, Keiichi Mitsuyama, et al.	臨床工学センター	Single needle granulocyte and monocyte apheresis for ulcerative colitis:A retrospective safety analysis	The Kurume Medical Journal. 2020 Jan 15 (オンライン)	Original Article
110	Kawaguchi T, Komori A, Fujisaki K, et al.	消化器内科	Eltrombopag enables initiation and completion of pegylated interferon/ribavirin therapy in Japanese HCV-infected patients with chronic liver disease and thrombocytopenia	Experimental and Therapeutic Medicine. 2019 Jul 18: 596-604	Original Article
111	Kawaguchi T, Ide T, Kondo R, et al.	消化器内科	Histological changes in patients who developed hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus eradication by interferon-based therapy	Experimental and Therapeutic Medicine. 2019 Nov 18; 3991-4001	Original Article
112	Ide T, Koga H, Nakano M, et al.	消化器内科	Direct-acting antiviral agents do not increase the incidence of hepatocellular carcinoma development: a prospective, multicenter study	Hepatology International. 2019 May 13: 293-301	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	専攻者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
113	Kawaguchi T, Suzuki F, Imamura M, et al.	消化器内科	Rifaximin-altered gut microbiota components associated with liver/neuropsychological functions in patients with hepatic encephalopathy: An exploratory data analysis of phase II/III clinical trials	Hepatology Research, 2019 Apr 49: 404-418	Original Article
114	Shimose S, Tanaka M, Iwamoto H, et al.	消化器内科	Prognostic Impact of Transcatheter Arterial Chemoembolization (TACE) Combined with Radiofrequency Ablation in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Comparison to TACE Alone using Decision-tree Analysis after Propensity Score Matching	Hepatology Research, 2019 Aug 49: 919-928	Original Article
115	Noda Y, Kawaguchi T, Korenaga M, et al.	消化器内科	High Serum Interleukin-34 Level is a Predictor of Poor Prognosis in Patients with Non-viral Hepatocellular Carcinoma	Hepatology Research, 2019 Sep 49: 1046-1053	Original Article
116	Suzuki H, Sezaki H, Suzuki F, et al.	消化器内科	Real-world effects of long-term rifaximin treatment for Japanese patients with hepatic encephalopathy	Hepatology Research, 2019 Dec 49: 1406-1413	Original Article
117	Kawaguchi T, Nakano D, Koga H, et al.	消化器内科	Effects of a DPP4 inhibitor on Progression of NASH-related HCC and the p62/Keap1/Nrf2-Pentose Phosphate Pathway in a Mouse Model	Liver Cancer, 2019 Oct 8: 359-372	Original Article
118	Sakaue T, Koga H, Iwamoto H, et al.	消化器内科	Glycosylation of ascites-derived exosomal CD133 is a potential prognostic biomarker in patients with advanced pancreatic cancer	Medical Molecular Morphology, 2019 Dec 52: 198-208	Original Article
119	Noda Y, Kawaguchi T, Kuromatsu R, et al.	消化器内科	Prognostic profile of patients with non-viral hepatocellular carcinoma: A comparative study with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma using	Oncology Letters, 2019 Jul 18: 227-236	Original Article
120	Yamasaki H, Kinugasa T, Iwasaki S, et al.	消化器内科	Questionnaire Survey from the 1st Kurume University Inflammatory Bowel Disease Center Educational Lecture	The Kurume Medical Journal, 2019 Aug 65: 109-112	Original Article
121	Yamamura S, Kawaguchi T, Nakano D, et al.	消化器内科	Profiles of Advanced Hepatic Fibrosis Evaluated by FIB-4 index and Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees	Hepatology Research, 2020 Feb 50: 199-213	Original Article
122	Kawaguchi T, Yoshio S, Sakamoto Y, et al.	消化器内科	Impact of Decorin on the Physical Function and Prognosis of Patients with	Journal of Clinical Medicine, 2020 Mar 9: E936	Original Article

計122件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
----	-------	---------------------------	----	---------------	------

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、または et al. とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）；巻数：該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例： Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	東館成希、八木実、田中芳明、他	小児外科	体液生理と電解質代謝	小児外科 51 (11) 1061-1064 2019年11月	Original Article
2	橋詰直樹、田中芳明、深堀優、他	小児外科	体組成分析で算出したエネルギー消費量の有用性	外科と代謝 2019年9月 53巻 4号 p. 163-168	Original Article
3	坂本早季、橋詰直樹、深堀優、他	小児外科	当院における小児外傷性脾損傷の臨床経験	日本小児外科学会雑誌 2020年2月 56巻 1号 p. 53-58	Original Article
4	赤木由人、藤田文彦	外科学	特集 消化器疾患に対する機能温存・再建手術 II. 下部消化管領域 8. 肛門機能温存をめざした括約筋間直腸切除術 (ISR)、経肛門吻合のコツ	臨床雑誌「外科」 81 (5) : 494-499 Apr 2019	Original Article
5	大地貴史、三輪啓介、赤木由人	外科学	特集 : Innovativeな大腸癌診断・治療 5. 直腸癌に対する術前化学療法	臨床雑誌「外科」 81 (10) : 1031-1035 Sep 2019	Original Article
6	音琴真也、金本亮、奈田慎一、他	外科	上下肢に同時発生した Axillofemoral bypass graft stump syndromeの1例	日本心臓血管外科学会雑誌 48 (4) : 277-280, 2019年8月	Case report
7	菅野裕樹、石川博人、橋本和晃、他	外科	残胃主要動脈血流の途絶を余儀なくされるも残胃壊死を免れた膵頭十二指腸切除術1例	日本臨床外科学会雑誌80 (4) : 719-723, 2019年10月	Case report
8	坂井貴三彦、春田雅俊、石橋有美、他	眼科	両眼に発症したintrapapillary hemorrhage with adjacent peripapillary subretinal hemorrhageの1例.	臨床眼科 74 (3) : 335-339, 2020年3月	Case report
9	阿久根穂高、佛坂扶美、門田遊、他	眼科	2012年から2年間の久留米大学眼科における感染性角膜炎の報告.	あたらしい眼科 37 (2) : 220-222, 2020年2月	Original Article
10	春田雅俊	眼科	視神経炎として診断、治療されていた片眼性網膜変性の一例.	神経眼科 36 (3) : 335-339, 2019年9月	Case report
11	小嶋修生、春田雅俊、半田壮、他	眼科	WAGR症候群に関連した緑内障の1例.	眼科臨床紀要 12 (10) : 739-742, 2019年10月	Case report
12	Hashiguchi S, Rikimaru H, Rikimaru-Nishi Y, et al.	形成外科・顎顔面外科	Closure of Intractable Enterocutaneous Fistula with a Rectus Abdominis Musculocutaneous Flap	PRS Global Open. 2019 Jun (オンライン)	Case report
13	王丸陽光、王丸光一、右田尚、他	形成外科・顎顔面外科	小児の顔面毛細血管奇形の色素レーザー治療で全身麻酔が治療効果に与える影響についての検討	形成外科 62 (6) : 662-669, 2019年6月	Original Article
14	小山麻衣、范綾、橋口晋一郎、他	形成外科・顎顔面外科	重複子宮・膣に1側の膣閉鎖を合併した症例の治療経験	形成外科 62 (7) : 788-793, 2019年7月	Case report
15	井野康、山内大輔、右田尚、他	形成外科・顎顔面外科	PAT移植を用いた下腿・足部の難治性潰瘍治療の検討	形成外科 62 (9) : 1029-1037, 2019年9月	Original Article
16	高橋長弘、守永圭吾、井野康、他	形成外科・顎顔面外科	持続洗浄型NPWTと間欠洗浄型NPWTの使い分け (2)-IW-CONPITとNPWTi-d-	形成外科 62 (10) : 1108-1119, 2019年10月	Review
17	守永圭吾、力丸由起子、力丸英明、他	形成外科・顎顔面外科	創内持続陰圧洗浄療法 (IW-CONPIT) と人工真皮の併用療法の有用性	形成外科 62 (10) : 1120-1126, 2019年10月	Review
18	神戸優子、山内大輔、井野康、他	形成外科・顎顔面外科	足関節の動きに連動した下腿難治性潰瘍に対してPerifascial areolar tissue graftによる治療を行った2例	形成外科 63 (3) : 357-363, 2020年3月	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
19	Tanaka H, Rikimaru H, Rikimaru-Nishi Y, et al.	形成外科・顎顔面外科	Surgical Management of Deep Brain Stimulator Infection without Electrode Removal: Report of Two Cases	Journal of Neurological Surgery Reports. 2020 Mar; 81 e15-e19	Case report
20	守永 圭吾、清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科	創傷に対する新しい治療法-局所陰圧閉鎖療法 (NPWT)から創内持続陰圧洗浄療法 (IW-COMPIT) について-	久留米医学会雑誌 83(1-3): 1-7, 2020	Review
21	Harada M, Miura S, Kida H, et al.	脳神経内科	Reversible conduction failure in anti-lactosylceramide antibody-positive combined central and peripheral demyelination.	Front Neurol. 2019 Jun 7. DOI: 10.3389/fneur.2019.00600	Case report
22	吉里 俊幸	産婦人科	超音波は産科医療をいかに変えたか	久留米医学会雑誌2019 Jul;82(6・7):297-302	Original Article
23	西尾 真	産婦人科	卵巣癌における分子標的薬の臨床試験 ~グローバル試験を中心に~	日本婦人科腫瘍学会雑誌 2020 Feb;38(2):135-144	Original Article
24	中村 謙、安陪 由思、中村 守 他、	歯科口腔医療センター	近位伝達麻酔法による歯槽神経伝達麻酔時に歯科用注射針が咀嚼筋隙に迷入した1例	日本口腔外科学会雑誌 65(4) 284-287, 2019年6月	Case report
25	緒方 絹子、田上 隆一郎、楠川 仁 悟	歯科口腔医療センター	唇顎口蓋裂患者にインプラント治療と顎矯正手術を行った1例	日本顎顔面インプラント学会誌 18(4) 253-260, 2019	Case report
26	川口 壽比古、深 堀 光緒子、栗田 卓、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	咽頭Saccular cyst の3例	耳鼻臨床 112: 173-180, 2019	Original Article
27	進 保朗、御厨 剛史、鶴丸 修 士、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	前篩骨動脈を温存し経鼻内視鏡下に眼窩上方へアプローチした眼窩骨膜下血腫の1例	日鼻誌 58: 1-7, 2019	Original Article
28	栗田 卓、梅野 博仁、千年 俊 一、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	声帯内自家脂肪注入術	喉頭 31: 93-98, 2019年12月	Original Article
29	小野 剛治、田中 法端、麻生 丈一 朗、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	RADPLATによる咽頭機能温存治療	喉頭 31: 69-74, 2019	Original Article
30	佐藤 公則、千 年 俊一、佐藤 公宣、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	睡眠中の嚥下と呼吸動態 一嚥下性肺炎との関連性一	日気食会報70: 187, 2019年4月	Original Article
31	Umino S, Kitamura M, KatoH-Fukui Y, et al.	小児科	A case of combined 21-hydroxylase deficiency and CHARGE syndrome featuring micropenis and cryptorchidism	Mol Genet Genomic Med. 2019 Jun;7(6):e730.	Case report
32	浦江 憲吾、柴田 了、深水 圭	腎臓内科	虚血性心疾患におけるアフレルシス	日本アフレルシス学会誌 38:115-120, 2019	Original Article
33	福田 理史、深水 圭	腎臓内科	急性腎障害	月刊臨床と研究 第96巻 第7号59-63, 2019	Original Article
34	太田 寛二、甲斐 田 裕介、深水 圭	腎臓内科	高齢者感染症の外来マネジメント 尿路感染症	月刊臨床と研究 第96巻 第12号31-36, 2019	Original Article
35	伊藤 佐久耶、深 水 圭	腎臓内科	透析患者に対するカルニチンの有用性	九州人工透析研究会誌 第4巻別冊 103-108, 2019	Original Article
36	森山 智文、伊藤 佐久耶、黒川 佑 佳、他	腎臓内科	訪問看護師による情報提供が腹膜透析関連合併症診断に及ぼす影響。	腎と透析vol 87 別冊 180-181, 2019	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
37	平田 英生、森山 智文、伊藤 佐久 耶、他	腎臓内科	無尿の急速進行性糸球体腎炎に 対して腹膜透析を導入し安定した経 過を辿った1症例。	腎と透析vol 87 別冊 217- 218, 2019	Case report
38	白瀧 正博、岡崎 真悟	整形外科	広範囲骨欠損に対する髓内釘を併 用したMasquelet法	中部日本整形外科災害外科 学会雑誌62 (2) ;207- 210, 2019年7月	Original Article
39	山田 圭、岩橋 頌二、佐藤 公 昭、他	整形外科	小児の環軸椎回旋固定に対する初 期治療の検討	Journal of Spine Research 10 (5) ;879-886, 2019	Original Article
40	山田 圭、佐藤 公昭、橋田 竜 騎、他	整形外科	握力・筋量と栄養状態が腰椎手術 患者の術前状態に与える影響の検 討	整形外科と災害外科 68 (2) ;242-246, 2019年5月	Original Article
41	山田 圭、佐藤 公昭、横須賀 公 章、他	整形外科	卒後研修講座 脊椎由来の慢性疼 痛の治療戦略 当科における治療 の変遷と今後の展望	整形外科70 (1) ;51-60, 2019	Original Article
42	濱田 哲矢、平岡 弘二、松田 光太 郎、他	整形外科	下肢腫瘍用人工骨頭置換術の成績	日本整形外科学会雑誌 93 (6) ;1456, 2019	Original Article
43	松垣 亨、瓜生 拓也、井手 洋 平、他	整形外科	Joystickで整復を試みたsuicidal jumper' s fractureの2例	骨折41 (3) ;833-836, 2019	Case report
44	松垣 亨、中村 秀裕、神保 幸太 郎	整形外科	抜釘後に骨癒合が得られた上腕骨 偽関節の1例	骨折41 (4) ;1447-1450, 2019	Case report
45	神保 幸太郎、原 口 敏昭、川崎 優二	整形外科	三角靭帯を修復しなかった足関節 果部骨折の手術成績	骨折41 (4) ;1405-1409, 2019	Original Article
46	下河邊 久雄、原 口 敏昭、川崎 優二、他	整形外科	自然消退した硬膜内ヘルニアの一 例	整形外科と災害外科 68 (3) ;578-581, 2019	Case report
47	仲摩 憲次郎、吉 田 史郎、松浦 充洋、他	整形外科	PIP関節陳旧性掌側板損傷による スワンネック変形と弾発現象に対 しCurtis法で治療した3例	日本手外科学会雑誌 36 (1) ;291, 2019	Case report
48	菊地 慶士郎、神 保 幸太郎、西田 一輝、他	整形外科	小児脛骨骨幹部骨折の保存治療	整形外科と災害外科 68 (4) ;790-794, 2019	Original Article
49	野口 幸志、副島 崇	整形外科	【特集：足関節の鏡視下手術】距 骨下関節鏡を行うべき病態	整形・災害外科 62 (4) ;377- 383, 2019	Original Article
50	吉光 一浩、岩永 壮平、樋口 富士 男、他	整形外科	人工股関節全置換術の周術期にお けるVTE予防策の当院での現状	整形外科と災害外科 68 (2) ;277-280, 2019	Original Article
51	松田 光太郎	整形外科	TACC3の高発現は骨肉腫における 予後不良因子である	整形外科70 (9) ;992-995, 2019	Original Article
52	秋吉 寿、坂井 健介、上野 智 規、他	整形外科	小児前腕骨骨幹部両骨骨折に対す る手術治療の検討	日本手外科学会雑誌 35 (6) ;1209-1213, 2019	Original Article
53	松浦 充洋、岡崎 真悟、仲摩 憲次 郎、他	整形外科	感染性偽関節・骨髄炎に対して抗 生剤含有セメント髓内釘の有用性 と容易な作成方法	骨折41 (3) ;1121-1125, 2019	Original Article
54	上野 智規、坂井 健介、秋吉 寿	整形外科	小児の手中骨頭粉砕骨折の1例	骨折41 (4) ;1241-1244, 2019	Case report
55	上野 智規、坂井 健介、秋吉 寿、 他	整形外科	小児基節骨頸部変形治療骨折の小 経験	整形外科と災害外科 68 (4) ;776-780, 2019	Original Article
56	島崎 孝裕、神保 幸太郎、菊地 慶 士郎、他	整形外科	胸腔鏡補助下に骨接合術を施行し た胸骨骨折の2例	整形外科と災害外科 68 (2) ;327-330, 2019	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
57	蒲地 康人、野口 幸志	整形外科	観血的整復を要した第2趾DIP関節 脱臼の1例	日本足の外科学会雑誌 40 (1) ; 315-318, 2019	Case report
58	杉山 卓郎、野口 幸志、村上 秀 孝、他	整形外科	活動性の高い高齢者に生じた新鮮 アキレス腱皮下断裂の2例	日本足の外科学会雑誌 40 (1) ; 294-297, 2019	Case report
59	中村 周道、松垣 亨、白濱 正博、 他	整形外科	胸鎖関節脱臼を伴ったフレイル チエストに対してプレート固定を 施行した1例	臨床整形外科54 (7) ; 757- 760, 2019	Case report
60	中村 周道、野口 幸志、江崎 佑 平、他	整形外科	両側に発症した外傷性腓骨筋腱脱 臼の1例	整形外科と災害外科 68 (4) ; 712-715, 2019	Case report
61	柳本 寛子、森田 喜一郎、小路 純 央、他	精神神経科	日本版ポケット嗅覚識別テストを 用いたアルツハイマー型認知症の 早期発見/早期診断の試み	老年精神医学雑誌 2019 Apr; 30 (4) : 413-422	Original Article
62	大島 勇人、小鳥 居 望、瀧井 稔、他	精神神経科	Polysomnographic Sleep Disturbances Due to High-Dose Zolpidem Use: A Case Report	九州神経精神医学 2019 Apr; 65 (1) : 49-53	Case report
63	森岡 基浩	脳神経外科	わかった！につながるコアスタ ディ 脳神経疾患別病態関連MAP 3. 脳出血.	ブレインナーシング 2019;35 (9) :14-17	Original Article
64	廣畑 優	脳神経外科	脳血管内治療のState-of-Art 閉 塞性疾患 Balloon PTAと Wingspan.	CLINICAL NEUROSCIENCE 2019;37 (10) :1252-1255	Original Article
65	坂田 清彦	脳神経外科	内視鏡時代の下垂体腫瘍の手術～ 機能性腺腫を中心に～	久留米内科医会会報. 2019;73:11-13	Original Article
66	竹内 靖治、廣畑 優、折戸 公彦、 他	脳神経外科	高度脳血管攣縮に対する経皮的血 管拡張術の有用性	脳血管攣縮. 2019;34:25-30	Original Article
67	橋本 彩、竹内 靖治、宮原 孝 寛、他	脳神経外科	遺残原始舌下神経動脈に合併した 内頸動脈および脳底動脈-後大脳 動脈塞栓症に対し急性期血行再建 術を施行した1例	脳卒中 2019;41 (6) :493-498	Case report
68	岡 龍彦、春田 雅俊、嵩 翔太 郎、他	眼科 脳神経外科	草刈り機による射創性脈絡網膜症 と眼窩内金属異物の1例	臨床眼科. 2019;73:375-379	Case report
69	小笠原 尚之、植 田 浩介、黒瀬 浩文、他	泌尿器科	進行性腎腫瘍に対する経皮的腎腫 瘍生検の検討	日泌尿会誌 110 (2) :75- 79, 2019	Original Article
70	西原 聖顕、末金 茂高、植田 浩 介、他	泌尿器科	上部尿路上皮癌に対する術前尿管 鏡検査の有用性についての検討	Japanese Journal of Endourology 32:205- 211, 2019	Original Article
71	Ohata C, Nakama T.	皮膚科	Granuloma Faciale Treated Successfully with Colchicine.	Acta Derm Venereol, 99:833-834, 2019.	Case report
72	Koga H, Teye K, Ishii N, et al.	皮膚科	Detachment of keratinocytes at the basement membrane zone caused by inhibitory effect of the antibodies from sera of mucous membrane pemphigoid patients.	J Dermatol, 46 (11) :1046- 1048, 2019.	Original Article
73	Koga H, Teye K, Yamashita K, et al.	皮膚科	Detection of anti-type VII collagen IgE antibodies in epidermolysis bullosa acquisita.	Br J Dermatol, 180 (5) :1107- 1113, 2019.	Original Article
74	Ohata C, Koga H, Saruta H, et al.	皮膚科	Bacteremia in autoimmune bullous disease patients undergoing double-filtration plasmapheresis.	J Dermatolog Treat, 30 (4) :402-404, 2019.	Original Article

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
75	Natsuaki Y, Muto I, Kawamura M, et al.	皮膚科	Sarcomatoid Variant of Primary Cutaneous Anaplastic Large Cell Lymphoma.	Am J Dermatopathol, 41 (12) :e164-e167, 2019.	Case report
76	Koga H, Imamura T, Urae K, et al.	皮膚科	Invasive pulmonary Aspergillose associated with bullous Pemphigoid.	J Dtsch Dermatol Ges. 17 (10) :1060- 1062, 2019.	Case report
77	宮田 裕作、淡河 恵津世、村木 宏 一郎、他	放射線腫瘍センター	炭素イオン線治療が奏功した中咽 頭粘膜悪性黒色腫の1例	頭頸部癌, 45 (1) : 57-60, 2019	Case report
78	Mai Ito, Kensuke Oshita, Kazuyuki Tanaka, et al.	麻酔科	Massive obstetric hemorrhage during cesarean section in a patient after conception by frozen-thawed embryo transfer: a case report.	JA Clinical Reports. 2020; 6, Article number: 2	Case report
79	大下 健輔、新山 修平、有永康 一、他	麻酔科	下肢虚血再灌流障害に対して術中 血液浄化法を行った2症例	日本集中治療医学会雑誌. 2020; 27 (2) : 111-2	Case report
80	秋葉 純、河原 明彦、安倍 秀 幸、他	病理部	【本邦における「唾液腺細胞診ミ ラノシステム」の実際の運用と問 題点】唾液腺領域の穿刺吸引細胞 診におけるミラノシステムを用い た後方視的な検討	日本臨床細胞学会雑誌 59巻 1号 Page24-29	Original Article
81	川野 佐由里、米 本 孝二、崎浜 智子	医療安全管理部	新生児集中治療室における末梢挿 入型中心静脈カテーテル関連血流 感染のリスク因子の検討：単施設 後ろ向きコホート研究	日本環境感染学会 誌, 2019, 34 (6) 、287-295	Original Article
82	長山 亜由美、隈 部 力、黒松 亮 子、他	臨床検査部	超音波検査が診断に有用であった 唾液腺腺様嚢胞癌の1切除例 — 超音波画像と病理組織の対比を中 心に—	超音波検査技術 vol.44 No. 4 (2019) 464-469	Case report
83	Oshita K, Kozasa Y, Nakagawa Y, et al.	麻酔科	Overexpression of the HCN2 channel increases the arrhythmogenicity induced by hypokalemia.	J Physiol Sci, 69 (4), 653-660, 2019年7月	Original Article
84	Hayashi T, Hashitani H, Takeya M, et al.	泌尿器科	Properties of SK3 channel- expressing PDGFR α (+) cells in the rodent urinary bladder.	Eur J Pharmacol, 860, 172552, 2019年10月	Original Article
85	Fukuda M, Yoshida T, Moroki M, et al.	高度救命救急センター	Influenza A with hemorrhagic shock and encephalopathy syndrome in an adult: A case report	Medicine (Baltimore). 2019 Apr;98 (14) :e15012.	Case report
86	Fukuda M, Nabeta M, Muta T	高度救命救急センター	Euglycemic diabetic ketoacidosis caused by canagliflozin: a case report	Int J Emerg Med. . 2020 Jan 22;13 (1) :2.	Case report
87	萬木 真理子、高 須 修、福田 理 史、他	高度救命救急センター	重症筋無力症クリーゼのリハビリ 開始を目的とした病勢評価	日本集中治療医学会雜 誌, 2019, 7月 ; 26 : 265-266.	Case report
88	長井 孝二郎、鴻 池 善彦、田代 恵太、他	高度救命救急センター	選択的血漿交換療法を施行した小 児中毒性表皮壊死症の1例	日本集中治療医学会雜 誌, 2019, 11月 ; 26 : 449- 450.	Case report
89	Yoshitake M, Fukunaga S, Torimura T	消化器内科	Abdominal pain and prolonged fever of unknown cause in a 14-year-old boy	Gastroenterology. 2019 May 156: e1-e3	Case report

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
90	Kawaguchi T, Nakano D, Okamura S, et al.	消化器内科	Spontaneous regression of hepatocellular carcinoma with reduction in angiogenesis- related cytokines after treatment with sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor in a cirrhotic patient with diabetes mellitus	Hepatology Research. 2019 Apr 49: 479-486	Case report
91	Suzuki H, Kawamura Y, Kinowaki K, et al.	消化器内科	The Lack of Hepatocyte Steatosis in Adult-onset Type II Citrullinemia Patients as Assessed by 7-year Interval Paired Biopsies	Internal Medicine. 2019 Jul 58: 1891-1895	Case report
92	Kawaguchi T, Arinaga-Hino T, et al.	消化器内科	Immune-mediated Drug-induced Liver Injury Caused by Laninamivir Octanoate Hydrate: A Case Report	Internal Medicine. 2019 Sep 58: 2501-2505	Case report
93	Sano T, Akuta N, Suzuki F, et al.	消化器内科	Role of NS5A-L31/Y93 Double Wild-type in Failure of Glecaprevir/Pibrentasvir Double Therapy in Two Patients with a History of Direct- acting Antiviral Agent Failure: An Ultra-deep Sequencing Analysis	Internal Medicine. 2019 Sep 58: 2657-2662	Case report
94	Kawaguchi T, Ikuta K, Tatsumi Y, et al.	消化器内科	Identification of Heterozygous p. Y150C and p. V274M Mutations in HJV Gene in a Japanese Patient with Mild Phenotype of Juvenile tHemochromatosis: A Case Report	Hepatology Research. 2020 Jan 50: 144-150	Case report
95	Fukunaga S, Mori A, Ohuchi A, et al.	消化器内科	Abdominal pain, diarrhea and bloody stools in a patient treated for renal cell carcinoma with sunitinib	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2020 Jan 35: 10	Case report

計95件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 任務、組織、議事、申請手続、審査、審査の方針 等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 47 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の構成及び運営、委員会の審議事項 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 臨床研究法、臨床研究の基礎知識、研究審査のための解説及び臨床研究機関の体制整備、がん臨床研究最前線、GCPトレーニング	

(注) 前年度の実績を記載すること。

	診療科	研修内容	統括者氏名	
1	内科	上部内視鏡	消化器内科	鳥村 拓司
		腹部エコー		
		心臓カテーテル検査・冠動脈形成術・末梢動脈形成術	心臓・血管内科	福本 義弘
		心エコー・経食道エコー検査		
		ペースメーカー・除細動器植え込み術・心臓再同期療法術	血液・腫瘍内科	長藤 宏司
		造血管疾患の診断と治療、特に造血管悪性腫瘍の診断と造血細胞移植		
エコーガイド下における甲状腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診	内分泌代謝内科	野村 政壽		
2	整形外科	整形外科疾患に対する診察診断技術と術式の研修、手術期の管理	整形外科	志波 直人
3	形成外科・顎顔面外科	形成外科基本的理論研修（創傷治療、皮膚切開、皮膚縫合、真皮縫合、採皮、植皮）	形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔
		形成外科基本的手術手技の研修（局所麻酔手術の執刀）		
4	脳神経外科	脳血管撮影	脳神経外科	森岡 基浩
		穿頭手術		
		神経内視鏡手術		
5	外科	基礎的手術手技	小児外科	八木 実
		上部消化管（造影）検査	外科	赤木 由人
		上部消化管（内視鏡）検査		
		下部消化管（造影）検査		
		下部消化管（内視鏡）検査		
		マンモグラフィ検査		
		乳腺エコー検査		
		ABI検査		
6	泌尿器科	腹部エコー	泌尿器科	井川 掌
7	産婦人科	ハイリスク妊婦に対する高度周産期医療	産婦人科	牛嶋 公正
8	麻酔科	手術麻酔（手術管理）	麻酔科	平木 照之
9	精神神経科	精神神経科専門医研修	精神神経科	内村 直尚
10	眼科	眼科基本的診察及び治療の学習	眼科	吉田 茂生
		網膜光凝固術などの眼科処置の習得		
11	放射線科	放射線治療位置決め並びに治療の理解に対する研修	放射線科	安陪 等思
		核医学の読影手技と適応疾患の理解に関する研修		
		IVRの手技の研修		
		CT、MRIの総合的画像診断学理解と読影手技の研修		
12	高度救命救急センター	重症外傷・多発外傷患者における初期診療	高度救命救急センター	高須 修
		心肺停止患者および重症頭部外傷患者における体温管理療法		
		重症敗血症患者に対する集中治療		
		対外循環式心肺蘇生法		
		ドクターカー・ドクターヘリを用いた病院前救急診療		

研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職	臨床経験年数	特記事項
星野 友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	診療部長	31	
谷脇 考恭		診療部長	35	
井田 弘明		診療部長	32	
鳥村 拓司	消化器内科	診療部長	37	
福本 義弘	心臓・血管内科	診療部長	29	
深水 圭	腎臓内科	診療部長	27	
野村 政壽	内分泌代謝内科	診療部長	33	
長藤 宏司	血液・腫瘍内科	診療部長	31	
内村 直尚	精神神経科	診療部長	37	
山下 裕史朗	小児科	診療部長	37	
赤木 由人	外科	診療部長	33	
奥田 康司		診療部長	41	
志波 直人	整形外科	診療部長	37	
清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科	診療部長	36	
森岡 基浩	脳神経外科	診療部長	34	
八木 実	小児外科	診療部長	37	
名嘉真 武國	皮膚科	診療部長	32	
井川 掌	泌尿器科	診療部長	31	
牛嶋 公生	産婦人科	診療部長	36	
吉田 茂生	眼科	診療部長	25	
梅野 博仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療部長	31	
安陪 等思	放射線科	診療部長	35	
楠川 仁悟	歯科口腔医療センター	診療部長	32	
平木 照之	麻酔科	診療部長	23	
高須 修	高度救命救急センター	センター長	30	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・ 研修の主な内容 ・ 研修の期間・実施回数 ・ 研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・ 研修の主な内容 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 ・ 研修の期間・実施回数 令和元年12月7日（土）・1回 ・ 研修の参加人数 36名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 志波 直人
管理担当者氏名	診療関係：各診療科部長（別紙1参照） 管理関係：事務部長 江口 訓史

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部倉庫 ・ 病院資料室 ・ 各診療科医局・資料室 ・ 各診療科受付 ・ 薬剤部 	<p>① 紙媒体</p> <p>【入院】</p> <p>番号法：一元番号法 保管法：ターミナル・プリント 保管対象：平成15年4月1日～平成25年9月30日 保管場所： 診療録・診療所記録（外部倉庫） レントゲンフィルム（セミアクティブカルテ室・外部倉庫・診療科医局資料室） 一部は平成21年4月1日より情報システム室（病院）のPACSにて電子保存。（現在作業進行中） ※平成15年3月31日以前の診療録に関しては、各診療科の医局管理にて、資料室等に保管されているものもあり。</p> <p>【外来】</p> <p>番号法：一元番号法 保管法：ターミナル・プリント 保管対象：最終来院日より10年以内のもの 保管場所： 最終来院日より1年以内（各診療科受付） 最終来院日より1年～10年以内（外部倉庫） 最終来院日より10年以上経過（外部倉庫・病院資料室・診療科医局資料室）</p> <p>② 電子媒体</p> <p>【入院・外来】</p> <p>平成25年10月1日以降の診療記録については、紙媒体で発生したのものもスキャンし、全て電子媒体で保管。</p>
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	部門ごとに、電子媒体や紙ファイルにて保管・管理している。 以下同じ
		高度の医療の提供の実績	管理課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
		高度の医療の研修の実績	管理課	
		閲覧実績	管理課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	管理課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営室 薬剤部	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理事務室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理事務室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理事務室 臨床工学センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター

感染関連マニュアル(紙媒体)

感染対策委員会会議資料、ICT会議資料(紙媒体)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室	
	医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品・医療機器管理部	
	監査委員会の設置状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室	
	職員研修の実施状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 医療安全管理事務室	
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	病院経営室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

管理担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	井川 掌
消化器内科	鳥村 拓司	産婦人科	牛嶋 公生
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	吉田 茂生
腎臓内科	深水 圭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	梅野 博仁
内分泌代謝内科	野村 政壽	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	長藤 宏司	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	平木 照之
小児科	山下 裕史朗	高度救命救急センター	高須 修
外科	赤木 由人	呼吸器病センター	星野 友昭
整形外科	志波 直人	消化器病センター	光山 慶一
形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔	循環器病センター	福本 義弘
脳神経外科	森岡 基浩	内科総合外来	深水 圭
小児外科	八木 実	乳腺外科・一般外科 総合外来	赤木 由人
皮膚科	名嘉真 武國	薬剤部	福本 義弘

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 志波 直人	
閲覧担当者氏名	診療関係：各診療科部長（別紙 1） 管理関係：事務部長 江口 訓史	
閲覧の求めに応じる場所	第 3 会議室	
閲覧の手続の概要		
「病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧請求書」を提出し、病院長決裁後、第 3 会議室にて閲覧		

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

閲覧担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	星野 友昭	泌尿器科	井川 掌
消化器内科	鳥村 拓司	産婦人科	牛嶋 公生
心臓・血管内科	福本 義弘	眼科	吉田 茂生
腎臓内科	深水 圭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	梅野 博仁
内分泌代謝内科	野村 政壽	放射線科	安陪 等思
血液・腫瘍内科	長藤 宏司	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	平木 照之
小児科	山下 裕史朗	高度救命救急センター	高須 修
外科	赤木 由人	呼吸器病センター	星野 友昭
整形外科	志波 直人	消化器病センター	光山 慶一
形成外科・顎顔面外科	清川 兼輔	循環器病センター	福本 義弘
脳神経外科	森岡 基浩	内科総合外来	深水 圭
小児外科	八木 実	乳腺外科・一般外科 総合外来	赤木 由人
皮膚科	名嘉真 武國	薬剤部	福本 義弘

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理に関する基本的考え方2. 安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本事項3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針7. 患者からの相談への対応に関する基本方針8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・設置の有無（有・無）</p> <p>・開催状況：年 12 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 重大な問題その他委員会において取り扱う問題が発生した場合における速やかな原因究明のための調査及び分析、その結果を活用した医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策の立案、実施及び職員への周知2. 改善のための方策の実施状況調査、必要に応じた当該対策の見直し3. 医療の安全管理の啓発、及びその評価を図るために必要な事項4. 医療安全管理マニュアルの改訂及び各部署の安全対策に関する手順の作成指導5. リスクマネジャー会議招集6. 医療安全に係る患者からの相談に関する対応7. 医療事故調査制度に基づく死亡症例に関する事項8. その他委員長が必要と認める事項 <p>主な内容：</p> <p>事件事例報告、各下部小委員会からの報告、警鐘事例報告、死亡症例報告、医薬品管理状況報告、監査委員会報告、福岡県四大学病院安全会議報告、日本医療機能評価機構からの事故情報報告、PMDAからの情報報告、医療安全関連規則 制定、改廃審議、その他</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 46 回
<p>・研修の内容（すべて）：</p> <p>別紙 1 のとおり</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 医療安全推進委員会（多職種）で業務改善計画書を作成し、院内の問題点抽出、計画、実施、評価 改善活動を実施、中間及びまとめを委員会報告
 - ・ インシデント小委員会での内容の審議、対策立案、周知
 - ・ セイフティコントロールチームでは、チームで再発予防策を検討すべきインシデント・合併症・併発症事例に対して、再発予防策の実施状況や改善状況の確認、フィードバックを行っている。
 - ・ 医療安全管理対策委員会にて報告し各部署にて共有

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療関連感染対策に関する基本的な考え方2. 委員会の組織に関する基本的な事項3. 職員研修に関する基本方針4. 感染発生状況の報告に関する基本方針5. 感染発生時対応に関する基本方針6. 指針の閲覧に関する基本方針7. その他医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. VRE積極的監視培養の結果報告2. ICTからの活動報告（抗生剤適正使用状況監視、耐性菌サーベイランス結果報告）3. 針刺し・切創体液曝露報告4. 病棟ラウンド、外来ラウンド状況報告5. 感染リンクナース委員会の活動状況報告等	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 37 回
<p>・研修の内容（すべて）： 別紙 2 のとおり</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・血培陽性者および感染症法に定められた感染症に関する菌（耐性菌）・ウイルスに関しては平日、感染制御部スタッフが電子カルテ上で確認、その都度アウトブレイク対応表に準じてICD/ICNが介入している。・検査部門・全入院患者部門・NICU部門においてJANISに参加している。・耐性菌発生時は状況に応じて、管轄保健所や九州厚生局などへの報告を行っている。・院内感染対策推進として、院内でICT/LN活動を積極的に行い、病棟出張勉強会に力を注いでいる。・院外では、地域病院と連携し研修・講習会等を実施している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>2019年4月1日 平成31年度新採用者オリエンテーション 「処方箋と医薬品の取扱い」</p> <p>2019年4月18日 第164回久留米大学病院TQM講習会 「医薬品の安全使用について」</p> <p>2019年6月14日 2019年度新人看護師研修会 「薬剤の知識と危険性について/麻薬の取扱い方法」</p> <p>2019年6月20日 2019年度スキルドナース（抗がん剤） 「薬剤の知識 抗がん剤の特性・危険性」</p> <p>2019年7月10日 救命センター勉強会 「簡易懸濁法、配合変化表について」</p> <p>2019年9月19日 第164回久留米大学病院TQM講習会 「多職種でとりくむAMR対策」</p> <p>2019年9月26日 西5階病棟勉強会 「産科病棟で使う薬」</p> <p>2019年11月29日 東9階病棟勉強会 「アブストラル舌下錠使用方法」</p> <p>2019年12月17日 第173回久留米大学病院TQM講習会 「久留米大学病院がん疼痛治療指針 第7版について」</p> <p>2020年1月15日 久留米大学病院VAD勉強会 「薬剤管理（心不全・VAD管理中・移植後）について」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有 無)</p> <p>・手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・病棟・外来での医薬品（定数配置薬、麻薬、向精神薬、毒薬、消毒薬、医薬用外毒物・劇物を含む）管理状況の定期的チェック（定数見直し、数、有効期限も含む）・病棟・外来での医薬品情報の整理・周知状況の定期的チェック・手順書遵守状況の確認（医薬品の受領、与薬、調製、ダブルチェック等）	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :
HIV母子感染予防に対するジドブジンシロップ・静注 (国内未承認薬) の使用 (1例)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 - ・ 未承認薬については未承認新規医薬品・医療機器管理部を担当部門として、未承認新規医薬品等評価委員会を設置し適切な使用方法等を審議し、使用の情報を得ている。
 - ・ 未承認薬等医薬品の申請手続きの周知徹底を図るため、各診療科への「周知文」を毎年年度初めに配布するとともに院内イントラネットに申請義務、内部通報、手順書を明示している。
 - ・ 適応外使用等については薬剤部において疑義照会で把握したものはDI室で情報を管理し、薬事委員会、医薬品安全管理責任者へ報告をし、病院倫理委員会への申請を促している。
 - ・ 最新の医薬品情報を収集、管理し、各職種に迅速に提供できる体制を整備している。緊急安全性情報・安全性速報、PMDAおよび日本機能評価機構の医薬品に関する安全性情報等については、電子カルテシステムのメッセージ機能により情報提供を行い、掲示板の「お知らせ」及び「薬剤部医薬品情報室」に掲載し、文書でも関連部署に配布している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 73 回
<p>・研修の主な内容： (放射線治療装置関連) MRI磁場体験、放射線治療装置の精度管理及び出力測定、放射線治療装置の定期研修、PET研修セミナー診療放射線技師コース、透視装置新規導入時の研修、画像処理ワークステーションバージョンアップ時の研修、放射線治療における呼吸同期照射システム新規導入時の研修、 (その他医療機器関連) 人工呼吸器：患者に安全な人工呼吸器療法及び構造、アラーム及び対処法 閉鎖式保育器：保育器管理におさえておきたい基本 血液浄化装置：血液浄化の安全管理、緊急時及びアラーム時の対処 人工心肺装置及び補助循環装置：安全な取扱い、緊急時の対処法、日常の管理 除細動装置：基本的な構造及び使用方法、日常点検、注意事項</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・医療機器に係る計画の策定 (有 無) ・機器ごとの保守点検の主な内容： (放射線関連) 始業・終業点検、メーカーによる定期点検、自主点検 (その他医療機器関連) 人工呼吸器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、人工心肺装置及び補助循環装置、除細動装置については年に1回の定期点検及び必要な部品の交換、日常の保守管理を行っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無) ・未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： ・その他の改善のための方策の主な内容： (放射線関連) パルス透視の利用による被ばく線量の低減、新規導入装置の取扱い説明会の実施、被ばく線量管理システムの導入 (その他医療機器関連) 医療機器安全情報については多方面より情報収集を行い、より重要な情報については医療機器管理小委員会、医療安全管理対策委員会に報告、また、各病棟・外来、関係講座に「安全情報」として電子カルテ上に掲載することにより院内への周知を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 20 の 2 第 1 項第 1 号から第 13 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無								
<ul style="list-style-type: none">・ 責任者の資格 (医師)・歯科医師)・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況<ul style="list-style-type: none">医療安全管理部長を医療安全管理責任者として配置し、医療安全担当副院長である<ul style="list-style-type: none">・ 医療安全、医薬品安全及び医療機器安全について必要な知識を有している・ 医療安全に関わる研修を定期的に受講している(業務)<ul style="list-style-type: none">・ 病院長と連携し、医療安全に資する診療内容のモニタリング、医療安全の認識の浸透度の確認を行ない、各部門の安全管理業務を把握する。・ 専門分野責任者と連携し、各部門の安全管理を推進・指導する・ 医療事故、警鐘事例について周知、指導する・ 医療安全管理上の問題、対策について周知、指導する									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況<ul style="list-style-type: none">最新の医薬品情報を収集、管理し、各職種に迅速に提供できる体制を整備している。緊急安全性情報・安全性速報、PMDA および日本機能評価機構の医薬品に関する安全性情報等については、電子カルテシステムのメッセージ機能により情報提供を行い、掲示板の「お知らせ」及び「薬剤部医薬品情報室」に掲載し、文書でも関連部署に配布している。・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況<ul style="list-style-type: none">・ 未承認薬については未承認新規医薬品・医療機器管理部を担当部門として、未承認新規医薬品等評価委員会を設置し適切な使用方法等を審議し、使用の情報を得ている。・ 未承認薬等医薬品の申請手続きの周知徹底を図るため各診療科への「周知文」を毎年年度初めに配布するとともに院内イントラネットに申請義務、内部通報、手順書を明示している。・ 適応外使用等については薬剤部において疑義照会で把握したものは DI 室で情報を管理し、薬事委員会、医薬品安全管理責任者へ報告をし、病院倫理委員会への申請を促している。・ 担当者の指名の有無 (有) 無・ 担当者の所属・職種：<table border="0" data-bbox="175 1724 1276 1892"><tr><td>(所属： 薬剤部 ， 職種 薬剤師)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr><tr><td>(所属： ， 職種)</td><td>(所属： ， 職種)</td></tr></table>		(所属： 薬剤部 ， 職種 薬剤師)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)
(所属： 薬剤部 ， 職種 薬剤師)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)								

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者をリスクマネジャー（診療部長）とする。 ・ 診療録のインフォームド・コンセントに関する監査をサブリスクマネジャー（病棟医長）により実施。実施状況は年に1回、全診療科の監査用紙を回収し、7つの監査項目の評価状況を確認し、集計結果を医療安全管理対策委員会で報告している。 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療情報センター長を管理責任者として配置している。 ・ 診療情報システム管理委員会統括の下、定期的に相互監査（病棟医長・看護師長が相互に他診療科の診療録監査を行う）を実施している。相互監査はチェックリストに基づいて診療記録の内容を確認し、必要に応じて記載方法等について指導を行っている。2020年度は、電子カルテシステム入れ替えに伴い、監査集計が統一できないため休止。 ・ 診療情報システム管理委員会統括の下、定期的に科内監査（診療部長・外来医長・病棟医長等で自らの診療科の診療記録監査を行う）を実施している。必要に応じて作成者へ指導を行っている。2020年度は、電子カルテシステム入れ替えに伴い、監査集計が統一できないため休止。 ・ 監査の結果は、診療情報システム管理委員会へ報告し、必要に応じて啓蒙や是正勧告を行っている。 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専従（7）名、専任（1）名、兼任（5）名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち事務職員：専従（2）名、専任（1）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策実施状況を把握、分析し、医療安全に必要な業務改善等の具体低な対策を策定する。 ・ 事故その他の医療安全管理部門において取り扱うことが必要なものとして、病院長が認める事象が発生した場合における診療録及びその他の診療諸記録、患者及び家族への説明、その他の対応状況を把握し、当該事象の発生の原因の究明及び当該結果に基づく対策の実施等について職員へ指導する。 	

- ・医療安全に資する診療内容のモニタリング及び医療安全の認識の浸透度の確認等を行なう。
- ・医療安全管理対策に係る体制を確保するための職員研修の企画、実施、実績を記録する。
- ・医療安全管理対策に係る取り組みの評価等を行なうカンファレンスを週1回開催する
- ・医療安全管理対策委員会との連携状況および事務取り扱いに関すること
- ・患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いに関すること
- ・医療安全管理者の活動実績の記録に関すること
- ・医療事故、インシデント・合併症/併発症報告書の収集と集計、分析、対策の実施に関すること
- ・医療機関等の医療安全に係る情報収集及び医療安全情報発行、職員への周知及び指導に関すること
- ・医療安全管理マニュアル等の作成、整備に関すること
- ・その他医療安全に関すること

※ 診療モニタリング

- ・全入院患者に対する深部静脈血栓症予防対策実施状況（リスク評価、予防策実施状況、予防計画立案、予防策説明状況など）
- ・高難度新規医療技術 説明書・同意書 取得状況、診療記録内容、IC同席率
- ・3b 以上事故事例に関する IC 同席率
- ・静脈麻酔下で行う処置・検査時のモニタリング実施状況
- ・検査結果報告書見落とし防止策（患者への説明と記録）の実施状況
- ・全死亡症例カルテ確認（入院、侵襲的処置・検査時、退院時の IC 記録）
- ・画像診断および病理診断報告書の目的外診断発生時の対応状況
- ・転倒・転落発生率
- ・IC記録に関する監査

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
 - 高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に関する委員会を開催し、その意見を踏まえて、当該高難度新規医療技術の提供、実施を認める条件等について決定した上で、診療科の長に対しその結果を通知する。
 - 定期的に手術記録、診療録等の記載内容を確認し、当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたか否かを確認する。また必要に応じて報告書等の提出を依頼する。
 - 決定事項、確認事項等について病院長に報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：

未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等に関する委員会を開催し、その意見を踏まえて、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について決定した上で、診療科の長に対しその結果を通知する。

定期的に診療録等の記載内容を確認し、当該未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたか否か確認する。また必要に応じて報告書等の提出を依頼する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 422 件（死産 22 件）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 67 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・死亡症例報告件数、報告状況、医療事故調査支援センターへの報告状況の共有
 - ・報告すべき有害事象に関する報告内容検討

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：昭和大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：昭和大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - ・テーマを選別し、M&Mカンファランスについて、企画開催されるとなおよい。
 - ・RRSについては、マニュアルの充実と院内への周知を徹底し、稼働件数を増加させていきたい。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
 - ・患者相談窓口に関する規約に沿って実施
 - ・医療安全管理部は、相談窓口担当者と連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援
 - ・医療安全に関する相談について、医療安全管理部医療安全管理者が対応する。
 - ・医療安全管理対策委員会で報告
 - ・相談窓口は、医療連携センターにおき、患者から受けた相談について、担当部署で審議対応する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
別紙 1 のとおり

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
 - ・ 九州厚生局医療安全ワークショップ
 - ・ 日本病院薬剤師会医薬品安全管理者責任者講習会
 - ・ 特定機能病院管理者養成研修 (日本医療機能評価機構)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

2019年度安全管理研修会受講者数(対象者)(DVD受講者含む。)

様式C-2 別紙1

日 時	開催時間	内 容	講 師	医 師	看護業務者	コメントイカル	計	その他	備考	開催場所
1 4月5日(金)	17時30分~18時30分	院内救急発生講習会	副センター長 山下 典道 先生 他	62	145	114	418	56	学生アルバイト(61名)、派遣看護助手(5名)、実習生(2名)	第16回救急センタートレーニングセンター
2 4月18日(木)	17時30分~18時00分	第164回TQM講習会 ・医薬品の安全使用について	薬剤師 橋本 温美 先生	28	176	67	288	0		薬水会館2階イベントホール
3 4月23日(火)	17時30分~18時30分	第165回TQM講習会 ・次期システム導入に向けた標準化 ・医療ガスの安全使用について ・久留米大学病院における2019年度の感染制御方針について	医療情報センター副センター長 七穂 伸行 先生 感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	141 224	393 13	132 7	761 248	1	医療センター職員(1名)	薬水会館2階イベントホール
4 5月17日(金)	17時30分~18時30分	第166回TQM講習会 ・医療ガスの安全使用について ・実践！認知症の方とのコミュニケーション	臨床工学センター 安達 精 先生 精神神経科 講師 柳本 寛子 先生 認知症チーム専任看護師 秋吉 知子 先生	27 5	148 10	21 1	204 16	0		薬水会館2階イベントホール
5 5月16日(木)	16時30分~17時00分	事故発生時の対応	医療安全管理部 早川 晴美 先生	0	6	0	6	0		看護部会議室
6 5月16日(木)	17時00分~18時00分	造形箱及び抗がん剤静注法対スキルドナース育成研修	医療安全管理部 川野 佐由里 先生	0	34	0	34	0		病院本館2階第1会議室
7 5月28日(火)~ 6月30日(日)	-	第165回TQM講習会 「安全管理研修」e-Learning【第163回TQM講習会(TQM大会)】	バス担当 菅生 SICU 大塚安穂 先生 情報対策チーム 高木 孝実 先生 中央手術部 主任看護師 二田水 裕子 先生 栄養サポートチーム SICU 尾花 和枝 先生 緩和ケアチーム専任看護師 村上 美樹 先生 医療安全管理部 江島 正剛 先生	154	623	68	913	0		
8 5月31日(金)	16時45分~17時30分	従業者に対する医療機器の安全使用に関する研修会	臨床工学センター 木崎 淑二 先生	0	23	3	26	0		西6階病棟カンファレンス室
9 6月6日(木)、1 3日(木)、25日 (火)、27日 (木)	17時30分~18時30分 17時30分~18時00分 17時30分~18時00分	医療にかかるとなる安全管理及び感染対策DVD研修会	6月6日、6月25日 「インシデント-医療事故と対策、医療訴訟」 医療安全管理部 横山 晋二 先生 久留米大学病院における職業感染症対策 6月13日 「医療品の安全使用について」 薬剤部 橋本 温美 先生 6月27日 「医療ガスの安全使用について」 臨床工学センター 安達 精 先生	70	271	179	562	0		薬水会館2階イベントホール
10 6月12日(水)	13時00分~14時00分	A/F輸液ライン、輸液ポンプの使用法	医療安全管理部 川野 佐由里 先生	29	128	2	163	0		東棟14階病棟他
11 6月6日(木)	13時00分~18時00分	看護助手研修	医療安全管理部 早川 晴美 先生	0	84	0	84	1	委託(1名)	病院本館2階第1会議室
12 6月12日(水)	17時00分~18時00分	安全輸液ライン管理	医療安全管理部 川野 佐由里 先生	0	57	0	57	0		病院本館2階第1会議室
13 6月19日(水)	17時30分~18時00分	第167回TQM講習会 ・医療機器の安全使用について	臨床工学センター 内村 鴻一 先生	14 28	87 1	19 0	127 29	0		薬水会館2階イベントホール
14 6月28日(水)	18時00分~18時30分 17時00分~18時00分	リハビリテーション部 救急対応訓練	リハビリテーション部長 松浦 博夫 先生 技師長 田島 久実 先生	3	1	32	36	0		リハビリテーション室
15 7月4日(木)	17時00分~17時30分	人工心臓及び補助循環装置について	臨床工学センター 篠田 真教 先生	0	15	12	28	0		病院本館2階第1会議室
16 7月19日(金) ~3月31日(火)	-	「安全管理研修」e-Learning 「人工心臓及び補助循環装置について」	臨床工学センター 篠田 真教 先生	156	603	33	806	0		
17 7月23日(火)	17時30分~18時30分	第168回TQM講習会 ・インスリンの使用について ・安心して安全な医療現場のためのコミュニケーション	内分泌代謝内科 永山 綾子 先生 緩和ケアチーム専任医師 佐野 智美 先生	14 7	72 2	17 0	114 9	0		薬水会館2階イベントホール
18 7月29日(月)	17時00分~17時03分	Team STEPPS DVD研修会	近畿大学病院 教授 辰巳 陽一 先生	6	165	4	177	0		病院本館2階第1会議室
19 7月17日(水) 18日(木)	8時40分~18時30分	2019年度 e-no研修(医療安全研修演習)	看護部 副部長 國武 栄子 先生					59	学生(59名)	病院本館2階第2、第3会議室
20 8月8日(木)	17時00分~18時00分	人工呼吸器について	臨床工学センター 吉田 圭介 先生	0	11	10	21	0		病院本館2階第1会議室

2019年度安全管理研修受講者数(対象者)(DVD受講者含む。)

日 時	開催時間	内 容	講 師	医 師	看 護 業 務 者	コ ン テ ン ト	計	そ の 他	備 考	開 催 場 所
21	8月20日(火) ~3月31日(火)	「安全管理研修」e-Learning 「人工呼吸器について」	臨牀工学センター 吉田 圭介 先生	98	461	19	3 581	0		
22	8月20日(火) ~3月31日(火)	「安全管理研修」e-Learning 「医薬品の安全管理について」	薬剤部 榎本 温美 先生	82	413	17	4 516	0		
23	8月20日(火) ~3月31日(火)	「安全管理研修」e-Learning 「医療ガスの安全管理について」	臨牀工学センター 安達 梢 先生	82	491	27	5 605	0		
24	8月22日(木) 17時30分~18時30分	第16回TQM講習会 「求められる医療安全管理体制-一人情報保護と医療者の法的責任-」 ・求められる医療安全管理体制 ・求められる医療安全管理体制	医療安全管理部長 田中 秀明 先生 医療安全管理部 副部長 横山 晋二 先生	16 1	34 0	3 0	13 66 0 1	0		坂水会館2階イベントホール
25	9月5日(木) 17時45分~18時45分	令和5年度 放射線安全管理研修会	医学部・病棟放射線防護委員会 安藤 孝思 先生 放射線防護委員会 久志野 彰寛 先生	64	60	20	11 155	0		坂水会館2階イベントホール
26	9月5日(木) 17時00分~18時00分	血液浄化療法について	臨牀工学センター 原田 凌太郎 先生	0	8	8	0 16	0		病院本館2階第1会議室
27	9月19日(木) 17時30分~18時30分	第165回TQM講習会 ・多職種で取り組むAMR(薬剤耐性)対策 ・インフォアードモニタリングセンターと検査結果の患者説明について	薬剤部 主任薬剤師 酒井 義朗 先生 医療安全管理部 副部長 横山 晋二 先生	63 66	152 7	92 6	37 344 1 80	0		坂水会館2階イベントホール
28	9月26日(木) ~3月31日(火)	「安全管理研修」e-Learning 「放射線安全管理研修」	放射線防護委員会 安藤 孝思 先生 RI施設・医学部放射線防護委員会 久志野 彰寛 先生	60	94	15	0 169	0		
29	10月2日(火) ~3月31日(火)	「安全管理研修」e-Learning 「血液浄化療法について」	臨牀工学センター 原田 凌太郎 先生	47	306	7	3 363	0		
30	10月3日(木) 17時00分~18時00分	「除細動器について」	臨牀工学センター 百合 凌馬 先生	0	47	10	0 57	0		病院本館2階第1会議室
31	10月23日(水) 17時30分~18時30分	第171回TQM講習会 ・優秀な医師の経歴 ・虐待・DVの理解と対応について	皮膚科 教授 名高真 武國 先生 精神神経科 臨床心理士 石田 哲也 先生	42 55	124 0	52 2	29 247 1 58	0		坂水会館2階イベントホール
32	10月28日(月) -	「安全管理研修」e-Learning 「除細動器について」	臨牀工学センター 百合 凌馬 先生	61	301	10	4 376	0		
33	11月7日(木) 17時00分~18時00分	閉鎖式保育器について	臨牀工学センター 諸藤 愛祐奈 先生	0	17	15	0 32	0		病院本館2階第1会議室
34	11月7日(木) 17時00分~18時00分	薬剤師にかかわる病棟・外来用医療機器「輸液投与ルート」 医療安全に関する up to date	テルモ株式会社 厚生労働省医政局 総務課医療安全推進室長 渡邊 顕一郎 先生	0 33	1 44	21 3	0 22 8 88	0		坂水会館2階イベントホール
35	11月20日(水) 18時00分~19時00分	医療安全に関する up to date	小児外科 七種 伸行 先生 感染症科 片山 英希 先生	30 22	76 0	44 1	21 171 0 23	0		坂水会館2階イベントホール
36	11月21日(木) 17時30分~18時30分	第172回TQM講習会 ・感染予防対策について ・2019年度感染対策委員会目標における中間報告~評価しない 限り改善しない~	近畿大学病院 教授 辰巳 陽一 先生	11	109	13	4 137	12	朝倉医師会病院7 名、久米総合病院 2名、医療センター 3名	坂水会館2階イベントホール
37	11月22日(金) 17時30分~18時45分	TeamSTEPSの概要と理念	臨牀工学センター 諸藤 愛祐奈 先生	30	250	9	4 293	0		
38	11月18日(月) -	「安全管理研修」e-Learning 「閉鎖式保育器について」	臨牀工学センター 諸藤 愛祐奈 先生	14	78	5	6 103	2	坂水会館2階イベントホール	坂水会館2階イベントホール
39	12月9日(月) 17時30分~18時00分	医療チームで行うアドバンス・ケア・プランニング(ACP)倫理研修会	神戸大学医学部附属病院 緩和ケア診療科 特命教授 木澤 義之 先生	47	69	40	33 189	0		病院本館2階 第1会議室
40	12月14日(土) 8時30分~13時00分	令和5(2019)年度 病院災害訓練	-	17 9	36 0	7 0	7 67 0 9	0		坂水会館2階イベントホール
41	12月17日(火) 17時30分~18時30分	第173回TQM講習会 ・厚生労働省標準化推進センター 記載について ・久米大学病院がん診療連携推進部 第7版発行について	医療情報センター 副部長 横山 晋二 先生 緩和ケアチーム 薬師部 井上 亞希 先生	18 17	52 0	4 0	9 83 0 17	0		坂水会館2階イベントホール
42	1月14日(火) 17時30分~18時00分	第174回TQM講習会 ・特設医療情報システムに関する外部監査委員会報告について ・R.R.T活動及びMIEWSについて	医療安全管理部 副部長 横山 晋二 先生 高度救命救急センター 主任看護師 合原 剛健 先生	16 10	75 10	3 0	9 103 0 20	1	愛恵会(1名)	病院本館2階第1、第2会議室 高度救命救急センター ソフトウェアラウンジ
43	1月20日(月) 18時00分~19時00分	年度研修「苦情対応について」	SONPOLISタマキシステム株式会社 泉 泰子 先生	10	10	0	0 20	0		
44	1月23日(木) 14時30分~15時00分	VTE予防勉強会	医療安全管理部 川野 佐由里 先生	10	10	0	0 20	0		

2019年度安全管理研修会受講者数(対象者)(DVD受講者含む。)

日 時	開催時間	内 容	講 師	医 師	看護業務者	コメディカル	計	その他	備考	開 催 場 所	
45 3月10日(火)～ 3月27日(金)	-	第176回TQM講習会(TQM大賞)・Learning 【講演1】<緩和ケアセンター運営委員会> がん患者生活の質向上～ナビゲーター研修会を安全に使用するために～ 【講演2】<作業サポート(NST)運営委員会> 今年度のNST活動報告について 【講演3】<クリニカルバス委員会> 標準化に向けた取り組みの現状と今後の課題 【講演4】<医療安全管理対策委員会> 急変時に適切に対応できる体制づくり 【講演5】<2019年度 悪薬対策委員会主催の達成度 2019年度 悪薬対策委員会> 【講演6】<消腫対策委員会> みんなで取り組もう！MDR/PU予防ケア	緩和ケアセンター がん専門看護師 壺木京子 先生 薬剤部 久保山 俊理 先生 看護部(電子運用担当) 看護師長 後藤 恵美子 先生 感染制御部 副師長 三浦 美穂 先生 医療安全管理部 看護師長 早川 晴美 先生 病棟対策チーム 看護師 光安 あかね 先生	35	126	14	9	184	0		
46 3月23日(月)	13時10分～14時40分	重大医療事故発生時の看護管理者のマネジメント～現状と課題～	医療安全管理部 川野 佐由里 先生	0	47	0	0	47		病院本館2階第1会議室	
計				1,575 429	6,331 28	1,149 17	570 6	9,525 474	132		

2019年度感染対策研修会受講者数(DVD受講者含む。)

様式6-2 別紙2

日 時	開催時間	内 容	講 師	医 師	看護業務者	コメディカル	計	その他	備考	開 催 場 所	
1 4月23日(火)	17時30分~18時30分	第165回IQM講習会 ・次期システム導入に向けた標準化 ・久留米大学病院における2019年度の感染制御方針について	医療情報センター副センター長 七穂 伸行 先生 感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	141 224	393 13	192 7	95 4	761 248	3 0	感染センター看護師 (1名) 客員医師(2名)	算水会館2階イベント ホール、中金講堂
2 4月26日(金)~	-	中央手術部における針刺し・切創事故防止DVD視聴	感染制御部	475	214	32	3	724	0	学生アルバイト(3 6名)、委託(九州 ビルサービス 67 名)(看護助手1 名)	-
3 4月21日(日)~	-	流水手洗い講習	感染制御部	112	608	105	17	842	4		-
4 4月21日(日)	-	輸液ラインの管理方法(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	38	0	0	38	0		SICUSタッフスペース
5 5月8日(水)	17時30分~18時30分	眼科領域における感染対策(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	7	15	0	0	22	0		東棟13階眼科カンファレンスルーム
6 5月13日(月)~ 5月24日(金)	-	2019年度 血流感染講習(ハブ消毒) 講習	感染制御部	0	59	0	0	59			SICUSタッフスペース
7 5月29日(水)	8時45分~10時00分	2019年度 急性重症化状況下血流感染勉強会+講習	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	29	0	0	29			高度救命救急センター内
8 5月27日(月)	-	「感染対策研修」e-Learning 「感染対策の概要」	山形大学病院 森兼 啓太 先生	156	685	67	38	946			
9 6月4日(水)	17時30分~18時00分	血流感染対策について	感染制御部 副部長 渡邊 浩 先生	11	13	0	0	24			東棟11階眼科カンファレンスルーム
10 6月6日(金)~	9時00分~9時30分	血流感染勉強会(血栓採取とMBPIについて)+講習	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	10	75	0	0	85			病院本館2階第2会議室
11 6月6日(木)、1 3日(木)、25日 (火)、27日 (木)	17時30分~18時 30分(6日、25 日) 17時30分~18時 00分(13日、27 日)	医療にかかると安全管理及び感染対策DVD研修会	6月6日、6月25日 「インシデント・医療事故と対策、医療訴訟」 医療安全管理部 積山 晋二 先生 「久留米大学病院における職業感染予防対策」 感染制御部 副部長 渡邊 浩 先生 6月13日 「医薬品の安全管理について」 薬師部 榎本 温美 先生 6月27日 「医療行為の安全管理について」 臨床工学センター 安達 梢 先生	61	246	170	38	515	0		算水会館2階イベントホール
12 6月11日(火)	14時00分~14時30分	救命センターにおけるCEREAアウトブレイク及び血流感染について	感染制御部 副部長 渡邊 浩 先生	26	15	11	0	52	8	学生(6名)、教 士(2名)	高度救命救急センターカンファレンス室
13 6月6日(木)~	19時00分~19時30分	看護助手研修	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	84	170	0	254	1	委託(1名)	病院本館1階第1会議室
14 6月14日(金)	17時00分~18時00分	血培 マキナムムバリアプリコシヨンの勉強会(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生 片山 英希 先生	1	84	0	0	85	0		病院本館第4、5会議室
15 6月18日(火)	17時00分~17時30分	長袖エプロン着脱方法(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	3	14	0	0	17	0		小原科カンファレンス室
16 6月19日(水)、 6月20日(木)	10時30分~11時00分	久留米大学病院における感染対策	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	1	0	0	1	26	委託(26名)	中央薬器材料部
17 6月29日(土)	10時00分~13時00分	感染管理に必要な抗菌薬と微生物の知識	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	11	0	0	11	0		病院本館2階第1会議室
18 7月9日(火)	17時00分~18時00分	ヒトメタニューモウイルス感染症対策及び血流感染対策	感染制御部 副部長 後藤 憲志 先生	16	27	0	2	45	0		東棟6階眼科カンファレンス室
19 7月25日(木)	13時00分~13時30分	一環防護具着脱訓練(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	5	2	0	0	7	2	学生(2名)	感染制御部内
20 7月31日(水)	9時00分~10時00分	血流感染と輸液ルーートの管理について(講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	6	189	1	0	196	0		病院本館2階第1会議室
21 7月17日(水)~ 18日(木)	18時15分~18時35分	2019年度 e-onna 研修(感染対策研修講習)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生						59	学生(59名)	病院本館2階第2、第3会議室
22 9月4日(水)	14時00分~14時30分	集中毒を起さない	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生						54	委託(54名) 兼座	

2019年度感染対策研究会受講者数 (DVD受講者含む。)

日 時	開催時間	内 容	講 師	医 師	看護業務者	コメディカル	講 員	計	その他	講 考	開 催 場 所
23 9月19日(木)	17時30分～18時30分	第165回TQM講習会 多様性を取り組みAMR(薬剤耐性)対策 ・インフォームドコンセントと検査結果の患者説明について	薬剤部 主任薬剤師 酒井 義朗 先生 医療安全管理部 副部長 林山 晋二 先生	63 66	152 7	92 6	37 1	344 80	0		第1大会議2階イベントホール
24 10月10日(木)	-	「感染対策研修」e-Learning 「抗菌薬を大事に使う！～AMR(薬剤耐性)に立ち向かうために～」	国立国際医療研究センター病院 忍野 賢志 先生	97	322	27	10	456	0		第1大会議2階イベントホール
25 10月23日(水)	17時30分～18時30分	第171回TQM講習会 ・得する医師の話 ・虐待・DVの理解と対応について	皮膚科 教授 冬島 武國 先生 精神神経科 臨床心理士 石田 晋也 先生	42 55	124 0	52 1	29 2	247 58	0		第1大会議2階イベントホール
26 10月10日(木)	17時00分～18時00分	救命センターにおけるORCAアウトブレイク経過及び結果について	感染制御部長 渡邊 浩 先生	18	10	5	0	33	3 学生(3名)		病院本部2階第1会議室
27 10月17日(木)	18時00分～19時00分	冬季の感染症対策について	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	0	20	0	20	0		病院本部第3会議室
28 10月24日(木)	17時00分～18時00分	内科業務研修育成コース：内科における感染対策	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	15	0	0	15	0		第1大会議2階第1会議室
29 11月21日(木)	17時30分～18時30分	第172回TQM講習会 ・感染予防について ・2019年度感染対策委員会目標における中間報告～評価しない限り改善しない～	小児外科 七瀬 伸行 先生 感染制御部 片山 美希 先生	30 22	76 0	44 1	21 0	171 23	0		第1大会議2階イベントホール
30 12月2日(月)	18時00分～18時30分	小児科病棟におけるCRE対応について	感染制御部長 渡邊 浩 先生	36	28	0	0	64	0		第1大会議2階第1会議室
31 12月23日(月) ・24日(火)	17時30分～18時00分 18時00分～18時30分	薬剤師勉強会(手指衛生・抗菌剤適正使用)	薬剤部 主任薬剤師 酒井 義朗 先生	0	0	15	2	17	0		薬剤師区等会議室
32 2月4日(火)	17時00分～17時30分 18時00分～18時30分	医療連携センター-Social Worker向け感染対策について	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	0	0	8	0	8	0		医療連携センター内
33 2月7日(金)	17時00分～17時30分 18時00分～18時30分	新型コロナウイルス関連肺炎の状況と当院の受け入れ体制について	感染制御部長 渡邊 浩 先生	84	187	79	20	370	1 派遣職員(1名)		第1大会議2階第1、第2会議室
34 2月25日(金)	17時30分～18時30分	第175回TQM講習会 ・感染制御病棟入院後追加算定について ・旭町地区における廃棄物処理の現状と課題について	医療連携センター副センター長 山口 至三 先生 環境管理室 篠原 和太 先生	19 21	37 2	7 0	9 0	72 23	1 派遣職員(1名)		第1大会議2階イベントホール
35 2月26日(土)～	-	PPF着脱トレーニング参加(済)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生 感染制御部 片山 美希 先生	39	88	9	0	136	0		第1大会議2階第1、第2会議室、第6階6階、第6階6階付スタッフルーム4他
36 3月2日(月)	16時00分～17時00分(済)	新型コロナウイルス関連肺炎の状況と当院の受け入れ体制について(済)	感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生	20	16	0	0	36	0		第1大会議2階第1、第2会議室
37 3月10日(月)～3月27日(水)	-	第176回TQM講習会(e-Learning) 【講演1】<緩和ケアセンター業務改善> がん医療連携推進Update～オピオイド鎮痛剤を安全に使用するために～ 【講演2】<栄養サポート(NST)運営委員会> 今年度のNST活動報告について 【講演3】<クリニカルパス委員会> 標準化に向けた取り組み～クリニカルパスの本質～ 【講演4】<夜間安全管理対策委員会> 急病時に適切に対応できる体制づくり 【講演5】<感染対策委員会> 2019年度 感染対策委員会目標の達成 【講演6】<管理対策委員会> みんなでも取り組もう！MDRPU予防ケア	緩和ケアセンター がん専門看護師 森木京子 先生 緩和ケアセンター 久松山 英理 先生 看護部(電子運用担当) 看護部長 後藤 惠美子 先生 感染制御部 副部長 三浦 美穂 先生 医療安全管理部 看護部長 早山 陽美 先生 看護対策チーム 看護師 光安 あかね 先生	35	126	14	9	184	0		第1大会議2階第1、第2会議室、第6階6階、第6階6階付スタッフルーム4他
計				1,513 388	3,983 22	1,060 15	330 7	6,886 432	162		

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
<ul style="list-style-type: none">・ 基準の主な内容<ul style="list-style-type: none">(1) 医師免許を有している者(2) 高度な医療を司る病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者(3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者(4) 久留米大学医学部附属病院及び同医療センターにおいて、各々が掲げる理念・目標を実現するために必要な資質・能力を有する者(5) 病院等の臨床系の教授である者・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 公表の方法 大学ホームページ	

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 公表の方法 大学ホームページ				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
別紙 1 のとおり				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 無)
- ・ 公表の方法
大学内ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
 - (1) 大学病院に病院長及び副院長を置く。
 - (2) 病院長は、久留米大学医学部附属病院長等選考内規に基づき選出し、理事長が選任する。
 - (3) 副院長は、病院長が選定し、診療部長会の了承を得るものとする。
 - (4) 副院長は、前項で選定された者の他、医療安全管理部、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務を統括する医療安全管理責任者及び看護部長が就く。
 - (5) 病院長は、大学病院全般の管理、運営にあたる。
 - (6) 副院長は、病院長を補佐し、病院長に事故があるときは、その職務を代行する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副院長：病院長を補佐し、病院長に事故があるときは、その職務を代行する。

病院長特別補佐：病院長を補佐し、大学病院の運営全般に関し、病院長に助言等を行うとともに、病院長が必要と認める事項について業務を行うものとする。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
各種委員会の委員長等に就任及び運営すること等を通じて、病院長の指示のもとに病院経営・運営の一端を担うことができおり、病院のマネジメント力に資する有効な経験を積むことができている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 令和 2 年 1 月 31 日 久留米大学病院医療安全監査委員会 令和 2 年 10 月 1 日 久留米大学病院医療安全監査委員会	
・ 活動の主な内容： 産業医科大学病院から 3 名（医師、看護師、臨床工学技士）、医療を受ける者 1 名を委員に実施 福岡大学病院から 3 名（医師、看護師、薬剤師）、医療を受ける者 1 名を委員に実施	
・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ 委員名簿の公表の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ 委員の選定理由の公表の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)	
・ 公表の方法： ホームページで公表	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤田 昌樹	福岡大学病院	○	医療安全の知識 を持つ医師	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
押川 麻美	福岡大学病院		医療安全の知識 を持つ看護師	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
鷲山 厚司	福岡大学病院		医療安全の知識 を持つ薬剤師	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
平田 ナツ子			医療を受ける者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
学校法人久留米大学内部監査室を設置している。
内部監査規程に基づき活動を行っている。
- ・専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)
- ・内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・公表の方法
大学内ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院の管理運営に関する重要事項を監督する委員会として、理事長の下に久留米大学病院経営企画委員会を設置している。委員には法人理事も含まれており、病院の管理運営に関する事項、稼働状況に関する事項、事業計画に関する事項等について審議している。・ 会議体の実施状況 (年 6 回)・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) (年 6 回)・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 公表の方法 大学内ホームページに掲載している。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：久留米大学病院経営企画委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内通知及び医療安全管理マニュアルに掲載

令和元年度 久留米大学医学部附属病院長等候補者選考委員会 名簿

No.	氏名	カナ氏名	所属	職名	選理由	特別の関係	備考
1	有馬 彰博	アリマ アキヒロ	久留米大学	常務理事	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第1項に基づき、理事長が指名する理事	有 無	
2	永田 見生	ナガタ ケイ	久留米大学	学長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第2項に基づき、学長	有 無	
3	矢野 博久	ヤノ ヒロキ	久留米大学	医学部長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第3項に基づき、医学部長	有 無	
4	上野 知昭	ウエノ チカ	久留米大学	医学部附属病院看護部長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第4項に基づき、医学部附属病院看護部長	有 無	
5	大塚 まり子	オウツカ マリコ	久留米大学	医学部附属医療センター看護部長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第4項に基づき、医学部附属医療センター看護部長	有 無	
6	高木 一希	タカキ カズキ	久留米大学	事務局長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第5項に基づき、事務局長	有 無	
7	住本 英樹	ズミト ヒデキ	九州大学	大学院医学研究院 教授	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第6項に基づき、理事長が委嘱する学外の有識者	有 無	前九州大学医学部長
8	朔 啓二郎	サツ ケイジロウ	福岡大学	医学部長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第6項に基づき、理事長が委嘱する学外の有識者	有 無	元福岡大学副病院長
9	上野 高史	ウエノ タカシ	久留米大学	医学部附属病院副院長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第7項に基づき、その他理事長が必要と認める者	有 無	
10	中島 宗敏	ナカシマ ムネトシ	久留米大学	医学部附属医療センター副院長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第7項に基づき、その他理事長が必要と認める者	有 無	
11	松田 峻一良	マツダ シュンイチロウ	福岡県医師会	会長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第7項に基づき、その他理事長が必要と認める者	有 無	
12	田中 二三郎	タナカ フミヲ	久留米医師会	会長	久留米大学医学部附属病院院長等候補者選考委員会要項 第2条第7項に基づき、その他理事長が必要と認める者	有 無	

様式6-3(別紙2) 診療部長会名簿

No.	メンバー名	職種	役職(部署名)
1	志波 直人	医師	整形外科診療部長(議長)
2	鳥村 拓司	医師	消化器内科診療部長
3	田中 芳明	医師	医療安全管理部長
4	渡邊 浩	医師	感染制御科診療部長
5	福本 義弘	医師	心臓・血管内科診療部長
6	高須 修	医師	高度救命救急センター長
7	赤木 由人	医師	外科診療部長
8	野村 政壽	医師	内分泌代謝内科診療部長
9	上野 知昭	看護師	看護部長
10	八木 実	医師	小児外科診療部長
11	星野 友昭	医師	呼吸器・神経・膠原病内科診療部長
12	谷脇 考恭	医師	呼吸器・神経・膠原病内科診療部長
13	井田 弘明	医師	呼吸器・神経・膠原病内科診療部長
14	川山 智隆	医師	呼吸器・神経・膠原病内科診療部長
15	光山 慶一	医師	消化器内科診療部長
16	古賀 浩徳	医師	消化器内科診療部長
17	黒松 亮子	医師	消化器内科診療部長
18	深水 圭	医師	腎臓内科診療部長
19	長藤 宏司	医師	血液・腫瘍内科診療部長
20	古賀 靖敏	医師	小児科診療部長
21	山下 裕史朗	医師	小児科診療部長
22	須田 憲治	医師	小児科診療部長
23	安陪 等思	医師	放射線科診療部長
24	藤本 公則	医師	放射線科診療部長
25	内村 直尚	医師	精神神経科診療部長
26	名嘉眞 武國	医師	皮膚科診療部長
27	奥田 康司	医師	外科診療部長
28	光岡 正浩	医師	外科診療部長
29	田山 栄基	医師	外科診療部長
30	唐 宇飛	医師	外科診療部長
31	森岡 基浩	医師	脳神経外科診療部長

様式6-3(別紙2) 診療部長会名簿

No.	メンバー名	職種	役職(部署名)
32	廣畑 優	医師	脳神経外科診療部長
33	吉里 俊幸	医師	産科診療部長
34	牛嶋 公生	医師	婦人科診療部長
35	井川 掌	医師	泌尿器科診療部長
36	梅野 博仁	医師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療部長
37	千年 俊一	医師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療部長
38	白濱 正博	医師	整形外科診療部長
39	佐藤 公昭	医師	整形外科診療部長
40	平木 照之	医師	麻酔科診療部長
41	清川 兼輔	医師	形成外科・顎顔面外科診療部長
42	力丸 英明	医師	形成外科・顎顔面外科診療部長
43	吉田 茂生	医師	眼科診療部長
44	門田 遊	医師	眼科診療部長
45	楠川 仁悟	医師	歯科口腔医療センター長
46	松岡 秀洋	医師	総合健診センター
47	秋葉 純	医師	病理部長
48	中島 収	医師	臨床検査部長
49	高森 信三	医師	臨床研修センター長
50	山下 典雄	医師	臨床工学センター長
51	淡河 悦代	医師	放射線腫瘍センター長
52	田中 法瑞	医師	画像診断センター長
53	松瀬 博夫	医師	リハビリテーション部長
54	牛島 高介	医師	保険診療管理部長
55	田原 宣広	医師	循環器病センター
56	江口 訓史	事務	病院事務部長

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成27年8月7日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 クリニカルインディケーター (CI) を久留米大学病院のホームページに掲載	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・ 消化器病センター (消化器内科、消化器外科)、循環器病センター (心臓血管外科、心臓・血管内科)、呼吸器病センター (呼吸器外科、呼吸器内科) を外来部門に設置している。 ・ キャンサーボードを開催し、がん治療の診療方針の検討等を行っている。	